

第51回

# 翔

～未来へ繋ぐ架け橋へ～



## 旭川北高等学校同窓会

旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会

と き / 2016年8月6日(土) 午後6時より

と ころ / 旭川グランドホテル 3階グランドホール  
(旭川市6条通9丁目)



市中



市高



北高

主催/第51回旭川北高等学校同窓会実行委員会

# 校 歌

明るく普通の速さで



1.あ た ー ら し ー き ぶ ん だ り ー の は な の さ  
3.か ぐ ー わ し ー き み ど り ー の ゆ う べ き

ん く ー ら ん と や が て か お ら む み  
く ー よ う の き ば な さ く あ さ き ま

ず ー き ー よ ー く や ま ー む ら さ き に め  
ゆ ー ひ ー い ー で た ま ー す む こ ら が ま

ぐ ど ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ み  
ー い ー し ー て ほ な ま び れ を う た う

ふ よ る る よ そ ろ こ く の い ざ く て を と り て た や  
む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む  
む な き ー あ の ぞ み に ひ か と り を と そ え む

# 校 歌

木村五一 作詞  
津田 甫 作曲

一、新しき文化の華の

燦爛とやがて薫らむ  
水清く山紫に

めぐりたる学びの庭よ  
溢れる歓喜いざ手を把りて  
止むなき向上に真理を求めむ

二、逞しき腕の力は

遠つ代の祖に承けたり  
汗あゆるその勤勞の  
成せる郷土豊けき穰  
とこしへ榮行くこの世に生きて  
止むなき教養清純を讃めむ

三、

かぐはしき緑の夕  
白瑤の樹氷咲く朝  
眉秀で魂澄む子等が  
まどおして誉を謳ふ  
見よ見よ祖国の前途は新  
止むなき希望に光明を添へむ

2016

# 翔

～未来へ繋ぐ架け橋へ～

もくじ

## contents

- 01 同窓会長あいさつ
- 02 学校長あいさつ
- 03 平成27年度会務・会計報告
- 04 同窓会規約
- 05 札幌・東京同窓会から
- 06 第40期恩師の近況
- 09 北高今昔（校舎・生徒 風景）
- 13 特集「同窓生の活躍」
- 25 招待期
- 26 同窓生から
- 27 今春の進路状況
- 28 北高NOW（部活動報告）
- 35 同窓会役員及び幹事
- 37 実行委員長・次期当番期あいさつ



## 未来へ繋ぐ第一歩

北海道旭川北高同窓会長

(北高25期) 尾崎信彦

6月だというのに暑くなったり寒くなったり、一向に天候が定まらない今日この頃、会員の皆様は、いかにお過ごしでしょうか。

昨年は、第50回の記念すべき、節目の同窓会並びに懇親会に多くの皆様に御出席いただき、また多大な御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして450名近くの同窓生、御来賓の御出席のもと、盛会のうちに記念講演会、総会、懇親会を無事終了することが出来ました。ことは、ただただ会の準備、運営に御尽力いただいた、実行委員長の水口貴浩さんをはじめとする、北高39期生のおかげと、ここに深く感謝申し上げます。

今年、新たな第一歩として第51回の同窓会総会、懇親会を、実行委員長の高柳明樹さんをはじめとする

第40期生の同窓会の皆様で、翔々未来へ繋ぐ架け橋へ」というキャッチコピーで準備を進めていただいております。

正に今回の会が今後の同窓生の先輩から後輩の新たな第一歩として、手と手を繋ぐ架け橋となってくれるものと信じております。

後輩の同窓生も、3年連続京大現役合格や、毎年国公立大学現役合格100名以上を出すなど大いに頑張っております。

また、north windowでも紹介しましたが、最近では東京同窓会や札幌同窓会の参加者が増加しており、若い期の同窓生の会員の参加もみられ、本当に嬉しく思っております。

本年の同窓会総会並びに懇親会が大成功に終わりますように、会員の益々の御協力をお願い致します。

しかし、まだ多くの若い期の幹事の長が所在が不明となっておりますので、同窓会本部又は、ホームページにお知らせいただければ幸甚に存じます。何卒宜しくお願いします。

最後に、今年の第51回の総会、懇親会が、新たな第一歩の礎となります様、期待しております。



# ごあいさつ

北海道旭川北高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より母校の教育活動に対しまして、尾崎会長様を始め多くの皆様より多大なご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、申し遅れましたが、私は平成28年度人事異動により北海道名寄高等学校より着任いたしました丸山年民と申します。浅学非才ではありますが、生徒のために、その職責を果たしていく所存です。今後とも同窓会の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

学校創立76年を迎えた長い歴史と輝かしい実績、更には素晴らしい校風を脈々と引き継ぎ、北海道高校教育の中心校として発展してきた旭川北高校は、2016年度も順調にスタートを切っております。これまで

同様、温かく、時には厳しい叱咤激励をいただければ幸いです。

さて、学校の近況ですが、今年度の生徒在籍数は5月末現在、全日制720名、定時制58名となっております。平成29年度の入学生は1間口増となり、単年度ですが7間口となります。また、同年度に校舎大規模改修工事が予定されています。

生徒の近況ですが、全日制では、今春卒業生の97名が現役で国公立大学に合格しました。京都大学には3年連続で現役合格しています。北大はもちろん、旭川医大、東北大、私立では早稲田や立教など多くの難関私立大学合格も果たしています。部活動も非常に活発で、全校生徒の90%以上が部活動に加入し、今年の高体連大会では男子バスケットや男子バレー、女子バドミントン、硬式テニス、卓球、陸上など10の部活動、

高文連では放送局が全道大会に出場しています。定時制では、粘り強く最後まで努力を続けた就職希望者9名全員が内定をいただきました。部活動では、定時制通信制体育大会で男子バスケット、女子卓球、柔道が全道大会に進みました。仕事、授業そして部活動の練習と厳しい環境ですが、よく頑張っています。

北高の教職員は、教育目標の達成に向けて「社会人基礎力の育成・学力の保証と教育の質の向上・生徒が目指す大人の集団である教職員」を3本の柱として使命感を抱き、真摯に取り組んでいます。同窓会の皆様への期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。今後も皆様に生徒の活動を温かく見守っていただき、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



北海道旭川北高等学校校長 丸山年民



平成27年度会務報告

平成27年

4月8日	入学式(尾崎会長)
5月16日	役員・幹事長会議(ポスター・チケット配布) 旭川グランドホテル
6月25日	会計監査(旭川グランドホテル)
同日	第3回役員会(旭川グランドホテル)
7月11・12日	北高等学校祭(同窓会露天参加)
8月8日	第50回同窓会総会(旭川グランドホテル) ゴルフコンペ
9月29日	第1回役員会(旭川グランドホテル)
同日	当番期引継会議
9月26日	東京同窓会総会(尾崎会長他2名参加)
10月2日	札幌同窓会総会(悪天候のため吉村副会長の み出席)
12月1日	同窓会入会案内発送

平成28年

1月30日	第2回役員会・幹事会・新年会(旭川グランド ホテル)
2月29日	同窓会入会式(全日制・定時制)
3月1日	卒業式(尾崎会長他4名出席)
4月8日	入学式(尾崎会長出席)
5月14日	役員・幹事長会議(ポスター・チケット配布)
6月24日	会計監査
同日	第3回役員会(旭川グランドホテル)
7月9・10日	北高等学校祭(同窓会露天参加)
8月6日	第51回同窓会総会(旭川グランドホテル) ゴ ルフコンペ
9月 日	第1回役員会(旭川グランドホテル)
同日	当番期引き継ぎ会議
10月7日	札幌同窓会総会(札幌ガーデンパレス)18時～

旭川北高同窓会平成27年度一般会計決算書

■収入の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	625,257	625,257	0	
2 同窓会費	1,234,000	1,213,000	▲ 21,000	
①入会金	514,000	496,000	▲ 18,000	248名×2,000円
②終身会費	720,000	717,000	▲ 3,000	239名×3,000円
3 ホームページ運営管理費	216,000	257,000	41,000	会券売上げ514枚×500円
4 雑収入	200	207	7	貯金利息
合計	2,075,457	2,095,464	20,007	

■支出の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総務費	1,321,000	1,119,783	▲ 201,217	
①事務費	20,000	10,000	▲ 10,000	消耗品費
②会議費	250,000	173,600	▲ 76,400	役員会、幹事長会等開催費
③通信費	25,000	30,660	5,660	切手、はがき、電話
④印刷費	20,000	10,000	▲ 10,000	会議開催案内状等印刷費
⑤慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	香典、生花、弔電
⑥支部活動費	500,000	453,640	▲ 46,360	東京・札幌支部同窓会出席 旅費、活動助成金
⑦広報費	216,000	233,280	17,280	同窓会ホームページ年間 管理・運営費
⑧卒業記念品費	170,000	155,888	▲ 14,112	卒業生記念品
⑨後援会事業費	30,000	30,375	375	学校祭協力費
⑩雑支出	60,000	22,340	▲ 37,660	振込手数料、雑費
2 文化費	320,000	325,400	5,400	ノースウインド第23号印 刷費、活動費
3 予備費	434,457	0	▲ 434,457	
合計	2,075,457	1,445,183	▲ 630,274	

■支出決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
2,095,464	1,445,183	650,281

残額650,281円は次年度へ繰越

■平成27年度特別会計決算書

(単位:円)

収入の部	支出の部	残金	
前年度繰越金	590,815 御招待者(北高16期) 会費	198,000	次年度へ繰越 625,823
北高第16期御祝儀(33名)	330,000 ホームページ掲載用会誌 PDF代金	98,820	
第50回総会準備金返還	300,000 第51回総会準備金貸付	300,000	
第50回実行委員会から	200,000		
ストラップ販売(1個)	500 記念事業基金へ	200,000	
タイピン販売(1個)	1,200		
貯金利息	128		
合計	1,422,643	合計 796,820	

■同窓会資産

(単位:円)

累計額	平成27年度 積立額	平成27年度 支出額	合計累計額	摘要
9,012,162	11,712	709,452	8,314,422	積立額は郵便貯金・定期 貯金利息/支出額はホーム ページ作成費

■同窓会記念事業基金

(単位:円)

累計額	平成27年度 積立額	平成27年度 支出額	合計累計額	摘要
2,254,957	200,445	200,000	2,255,402	積立額は郵便貯金利息と実 行委員会より寄付/支出額 は特別講演費



# 北海道旭川北高等学校 同窓会規約

## ●第1章 総 則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

## ●第2章 事 業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦を図ること。
- (2) 会誌及び会員名簿の発行
- (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

## ●第3章 会 員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。

- (1) 旭川市立中学校卒業生
- (2) 旭川市立高等学校卒業生
- (3) 旭川北高等学校卒業生
- (4) (1)(2)(3)各号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

## ●第4章 顧 問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

## ●第5章 役 員

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 会 計 監 査 3名
- (4) 総 務 部 長 1名
- (5) 総 務 副 部 長 若干名
- (6) 会 計 部 長 1名
- (7) 会 計 副 部 長 若干名
- (8) 文 化 部 長 1名
- (9) 文 化 副 部 長 若干名
- (10) 幹 事 長 各期毎1名

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。

2 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時制にあっては幹事長のみとすることが出来る。

2 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。

4 幹事は、各組の取りまとめにあたる。中から選出する。ただし、再選を妨げない。

2 会計監査は、本会の経理を監査する。各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

第12条 各役員は、本会の経理を監査する。各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

第11条 会計監査は、総会において会員の中から選出する。ただし、再選を妨げない。

## ●第6章 総 会

## ●第7章 役員会及び幹事長会

## ●第8章 会 計

## ●第9章 事 務 局

## ●第10章 規約の改正

## ●第11章 支 部

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは議長これを決す。

2 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。

3 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。

4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。

第14条 総会は、次のことを審議する。

- (1) 会務の報告
- (2) 決算の承認
- (3) 規約の改正
- (4) 役員を選出
- (5) その他必要な事項

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

2 本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長がこれを決する。

第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることが出来る。

第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

- (1) 総務部
- ア 総会及び役員会に関すること。
- イ 規約の改廃に関すること。
- ウ 本会の渉外事務に関すること。
- エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。

第19条 本会の経費は、入金金一、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

2 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。

第19条 S 50. 9. 6 改正

第19条 S 53. 9. 2 改正

第19条 S 57. 8. 4 改正

第13条 2項 S 58. 8. 13 改正

第19条 S 63. 8. 7 改正

第19条 H 2. 8. 11 改正

第4条・第8条・第10条・第11条 H 4. 8. 8 改正

第15条・第17条・第18条・第20条 H 7. 8. 12 改正

第5条 4項 H 9. 8. 9 改正



## 札幌支部

同窓会札幌支部の  
現状と今後

札幌同窓会会長

武田

寛(北高十六期)

札幌同窓会会長の十六期の武田です。前中島会長の後を、引き継いでやらせていただいております。副会長 風間 透(十七期) 吉野 伸一(十八期)、事務局長 松原 幹昌(三十一期)の四人態勢でやっております。私と副会長の二人とも団塊世代です。

私が同窓会札幌支部に参加したきっかけは、同期の笹田から同窓会参加の誘いがあったのがきっかけでした。三十五歳頃であったと思います。札幌同窓会は今年三十五回目を迎えますから、私が参加したのは支部設立二年目の頃であったのでしようか。当時から出席者数は二百名を超えており、活気のある同窓会でした。同期の仲間も二十人程参加していました。卒業してから十七年振りの再会でしたが、同窓・同期であるということだけで、この空白をアツという間に埋めてしまいます。懇親会の後は二次会に繰り出し、スナックでカラオケ。締めのカラオケは全員で高校三年生を歌うのが定番でした。

バブル崩壊後、出席者が少なく

なりましたが、それでも百五十名は出席していました。

一昨年の会誌にも掲載しましたが、出席者が二百二十余名に急増して、いつものホテルに入りきらず、ホールの外(ホワイエ)に席を設けその場を凌いだ次第です。

最近では若い期の出席者が増えていきます。昨年、若い期の会員から名刺を交換する場を設けて欲しいとの要望がありました。今年の札幌同窓会は十月七日(金)に札幌ガーデンパレスで開催されます。個人情報保護のこともありまして、名簿発行は五年毎に発刊することになりました。総会・懇親会当日の出席者名簿も作成していません。出席者の中には名刺交換をしたくない会員もいると思います。これを実行するには難問が山積しておりますが、七月二十九日の幹事会でそのやり方を議論します。この企画が成功し、新たな出席者が増えることを期待しております。

旭川北高同窓会の益々の発展を祈念いたしております。

## 東京支部

北高東京同窓会と  
東京旭川会のこと

東京旭川会会長

高橋

照美(北高四期)

東京同窓会では二年に一度、総会・懇親会を開催しています。昨年は北海道から多数のご参加を頂き、盛会裏に会を進めることができました。次回は、来年九月九日(土)十四時からホテルモントレ半蔵門で開催する計画です。皆様の参加をよろしくお願い致します。

なお、この機会に、東京旭川会について紹介させていただきたいと思えます。東京旭川会は、一九七七年に旭川出身者または旭川市に所縁のある者を会員として設立されましたが、現在、会員の中心は各高校の東京同窓会となっております。

北高からは設立当初から何人かが幹事として参画してこられました。私は現在、東京旭川会の会長を務めています。西谷内力世副会長(十五期)他、山崎正之(十六期) 山口哲男(十八期) 野作雅章(二十期) 東出康宏(二十三期) 佐藤美紀(同)の皆さんが幹事として活躍されています。東京旭川会では、隔年に「郷土訪問の旅」を行なっていますが、今年に会設立四十周年という記念の年であることから二十五名が参加し、北彩

都ガーデンの一角にミズナラとシナノキの植樹を行いました。東京旭川会と旭川市を結ぶシンボルとして立派に成長することを祈っています。また、東京旭川会の有志と旭川市関係者による合同の懇親ゴルフ会を大雪山カントリークラブで行いました。

東京旭川会では、年に一度、会報「ななかまど」を発行していますが、更に、ホームページを開設し、随時更新しています。

私は、現在「北海道ふるさと会連合会」の会長も務めています。七十八ある「ふるさと会」の中でも、東京旭川会のホームページは、内容や更新の度合いなどにおいて、非常に充実していると思っております。北高出身の人達を中心にして運営されており、皆さんのご協力に対して感謝申し上げる次第です。

もちろん東京付近の方でなくても参加は大歓迎です。宜しくお願致します。



# 恩師の近況

Former teacher



※生徒が描いたイラスト

## 北高山岳部

石岡 勝義

私の趣味の一つは山登りで、今でも続けています。北高在職中の14年間も山岳部の顧問をしていました。ここ数年の私の山行と北高での山行などの思い出を綴ってみます。

おとしから樺戸山系（主峰はピンネシリで1100m）の浦臼山（817m）から樺戸山（860m）への縦走路が笹で廃道寸前、その先隈根尻山（179m）まではガイドブックでも廃道と書かれ笹が密生しています。浦臼町は財政難で縦走路の整備を断念しました。さて、そこで無謀にも私が剪定鋏を唯一の武器に笹刈に挑むことにしました。殆ど狂気の沙汰と言えましょう。まるでセル

バンテスのドンキホーテみたいなものです。しかし、老いの一徹、これまでの16日の作業で浦臼山から樺戸山間のほぼ9割は刈り終わりました。しかし隈根尻山までのおよそ8割が残っています。これが難物です。兵站線？が伸びて、作業現場が遠くなってきました。きのう（6月12日）は反対側の道民の森一番川地区から隈根尻山に登って2時間作業をしました。来年中には縦走路の全線の整備を終える決意を固めているところです。

北高は私が転動した年は旧校舎の一部が残っていて、旧職員室から新校舎にかよっていました。オソロの山岳部の廃屋部室も残っていました。部員は3年生の黒川

君ともう1人？のみで、この年は大会に参加できませんでした。担任した英語科の女の子を甘い言葉で勧誘して入部させ、北高山岳部の再建にとりかかりました。女子中心の部活動になり、その後、高体連の全道大会で2位になったのが頂点でした。山岳部は今どうなっていたかな？

今はなき深名線に乗り三頭山や長留内岳、ピッシリ山に登りました。芦別岳の新旧尾根や残雪期の本谷の廻行、夏休みは恒例の大雪山縦走、利尻山にも登り、島一周の自転車競走に興じました。当時の岳友は今も登っているでしょうか。私はまだまだ登り続けます。

Former teacher



## 北高最後の三年とそれから

武田 克伸

私にとっては旭川北高最後となる学年でした。十一年間勤務しました。三十代の思い出と深く関わっています。思い返しますと四回旭川北高で卒業担任を経験しました。その時々によって高校生の心理・行動は少しずつ違ってきます。かけがえない日々を過ごすことができました。卒業アルバムと記念テレカには感慨深いものがあります。

先生、同年齢で話し易かった西田・村上両先生、少し後輩の柿本・渡辺・阿部先生と若き木村先生という担任団は、私にとって願ってもないメンバーでした。以後二十年の高校教師生活の貴重な糧となりました。皆さんが卒業された四月に札幌開成に転勤して市立高六校で勤務し、定年後再就職して大学生とともに五年間、そして昨年四月からは、北海学園大と東海大で週一回ずつ二十歳前後の若ものとともに学んでいます。

土田紘一主任のもと、良き先輩で信頼できる織田・高橋・石岡各



年齢とともに老化は進みます。

体力・気力ともなかなか思いどおりにいきませんが、一年を通じて働くことができる喜びを実感しています。新聞を読み、学生のノートと課題の添削、家事もひととおりこなせるようになりました。夏休みは、全道高校の新聞と図書館報のコンクール審査と全国高総文祭に講評を述べるに参加。秋には二つの高文連全道大会に呼ばれ、私

りのメッセージを発信する機会にも恵まれています。冬休みと春休みには、全国高校新聞の紙面審査とあわせて、高校生と大学生に接することに日々感謝です。この年齢になっても成熟にはほど遠いのですが、これが私の人生の歩みかと実感するこの頃です。他には、次の世代を担う若ものたちが主催する政治集會に顔を出したりしています。

皆さんに語った「だますな。だますな。だますな。だますな。だますな」を今も、自分に言い聞かせています。これらを実現する道は遙かですが、老練しない限り、理想を追い求めて生きたいと思っています。

Former teacher



## 北高での出会いは 良き思い出

柿本 比佐緒

この度は北高同窓会の招待状有り難うございます。私は北高に14年間勤めさせて頂き、その後転勤を繰り返して公立高校定年後も私学旭大高に勤務し昨年3月に退職させて頂いていただいたところです。

40期の皆さんとは2年生の時、副担任として加わり、3年生では7組の理系担任でした。男子は我が道を行く者、物静かです内に秘めたタイプが多かったように思いますが、女子は相対的にたくましかったです。

思い出としては学校祭でのクラス展示でピカソの「ゲルニカ」を44等分（男子27・女子17）して共同制作、実に見事な仕上がりました。本物より若干小さめでしたが教室の窓一面を覆う巨大なゲルニカ。君たちが卒業した後も職員室の私のデスクカバーにその写真を10年以上もはさんでいました。スペインに行く機会があり首都マドリッドにあるソフィア王妃芸

術センターに展示されている「ゲルニカ」実物を前にした時あらためて感動した記憶があります。反戦と平和希求のシンボルともいわれる20Cを代表する絵画ではないでしょうか。

私の近況は、この1年は数ヶ月毎の旅をしています。妻を15年程前に病気で亡くして一人旅ですが、イタリアでは南のナポリから北のミラノまで、ルネサンス発祥のフイレンツエやダ・ヴィンチの「最

後の晩餐」には感動。インドでは釈迦の足跡、ヒンドゥー・イスラム文化の遺跡巡り。ペルーではインカ文明のマチュピチュやナスカの地上絵などです。世界史授業の復習をしているようですが、それぞれの風土や歴史文化の違いには興味深いものがあります。最後になりますが、北高に勤務でき皆さんに出会えたこと本当に良かったと思っています。

皆さんの益々の活躍を祈ります。

Former teacher

## 思い出すままに

入船 敏昭

旭川北高には、昭和六十二年度から平成二年度までの四年間、お世話になりました。今、思い出してみれば、北高在職中の私は、ただの子ども（もしかしたら生徒諸

君よりも幼い？）だったんだなあとつくづく情けなくなります。とてもこの場で、文章にする事なんかできない事の方が多いような気がします。それでも見捨てず、私

を育てようとしてくださった先輩の先生方、未熟な教員を許容してくれた生徒諸君に改めて感謝いたします。教員としてのスタートが北高だったからこそ、今でも教員をやらせていただいていると思っています。

その後、江差高校に十一年、当別高校に十四年勤務し、今春より札幌東商業高校勤務となり、現在に至っています。

北高生の活躍する姿は、ほんとうれしい限りでした。中でも、プロ野球中継をみていたら、一年の時に担任していた岩本君が日本ハムヒルマン監督の通訳として登場したことが、十二年前の甲子園出場の際は、それぞれの件に関して全くといっていいほど、役に立っていないのにもかかわらず、自分の事のように印象深い嬉しい出来事でした。

また、新採用の年に教えた桑谷君が当別高校に赴任してきた事も大きな驚きでした。教え子と同じ職場で机を並べる事があるなんて。桑谷君は四年ほどで転勤していきしましたが、私が教えられる事の方が多かったような気がします。

自らのお仕事も大変ななか、同窓会の開催、同窓会誌の編集等、北高並びに同窓会のためにご尽力

くださっている同窓会役員の皆様  
に感謝申し上げ、拙文を閉じる事にします。

Former teacher



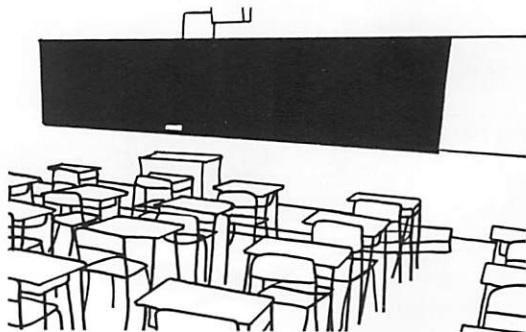
## 第51回旭川北高等学校 同窓会の成功を

荒谷 昭夫

過日、藤井君から原稿の依頼があり、卒業担任でもない私がつ躑躅しましたが、幹事の面々の懐かしい顔が浮んで、大変僥越ですが筆をとりました。私が北高に赴任したのは一九七九年、その年に新校舎の落成式が行われました。文武両道を宗とし大変活気のある学校で、女子の制服は同窓の母親や女生徒に人気がありました。生徒・父母・同僚に恵まれ、教員歴の半分以上を北高で過ごさせていただけ、一九九九年に退職しました。二人の息子は、小・中・高校とお世話になり32年もの歳月を旭川で送りました。故郷室蘭には高校までの18年、文字通り第2の故郷になりました。大雪連峰を見渡す広大な上川盆地、寒暖の差の激

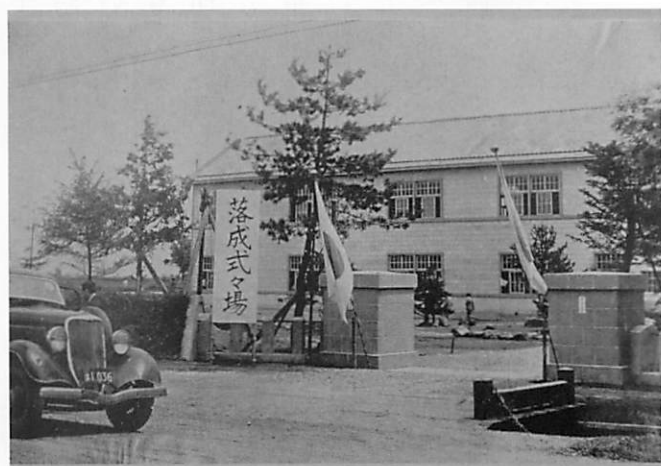
しい気候が大好きでした。六年前突然妻を亡くし、一人住いの虚しさとしさから息子のいる札幌に転居しました。気に入ったマンションは独居老人ということで、オーナーに断わられ、懐かしい登別温泉で寛ごうと思ったら宿泊を拒否され、独り者の老人には日本は大変冷たいところだと悟りました。現在は息子夫婦と同じ屋根の下で生活し、幼稚園に通っている二人の孫の笑顔を見ながら余生を送っています。私は六月で78歳になりました。他人の名前どころか、身近な名詞すらすぐ出てこない程ボケが進行しています。表面的には健康ですが体内はあちこち痛んでいて、片手では足りない数の薬を愛用しています。週の半分以上は

歩いて12、3分の碁会所に通って頭の体操をしています。冬期間は『コナミ』で、夏は週一回程度パークゴルフで汗を流しています。九男三女の末っ子として誕生した私ですが、今は姉兄三人になりました。二人の孫の入学まで元気で願っています。それぞれ社会で活躍しながら会の成功の為に奮闘していると共に、第51回旭川北高等学校同窓会の成功を心より祈念しています。





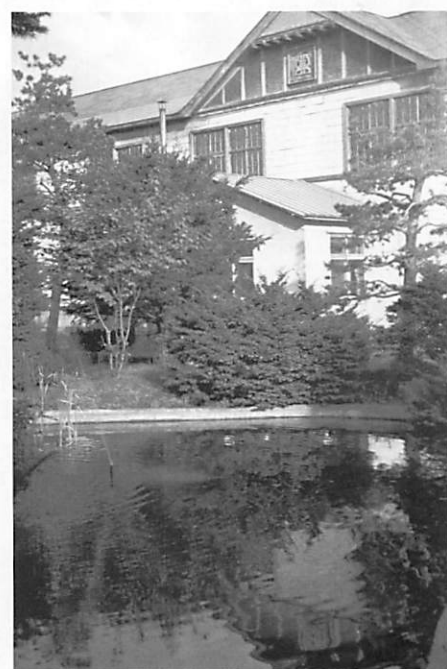
昭和40年頃の校舎



昭和16年校舎落成



第1体育館 昭和44年完成



旧校舎と池



体育館内



平成12年耐震補強工事後



昭和53年新校舎改築



耐震補強工事後の校舎



第2体育館 平成7年完成



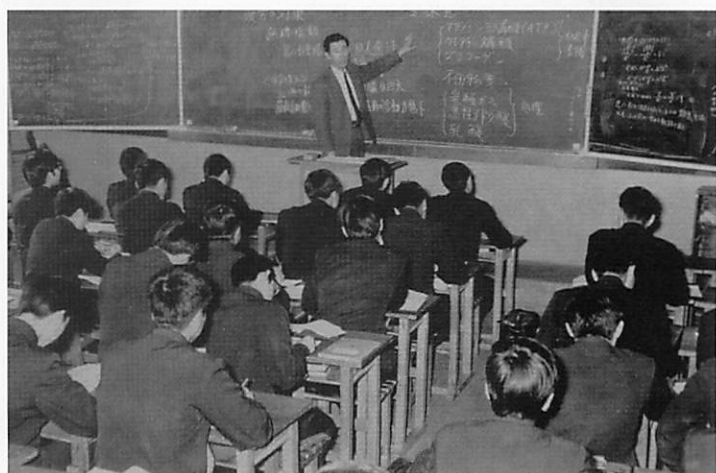
昔と変わらない職員室



現校舎と池



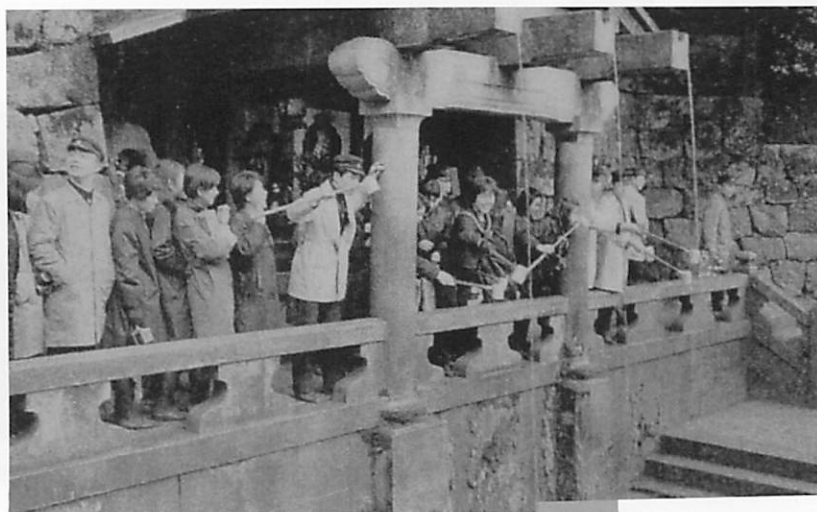
バスでの通学風景 昭和40年代



授業風景



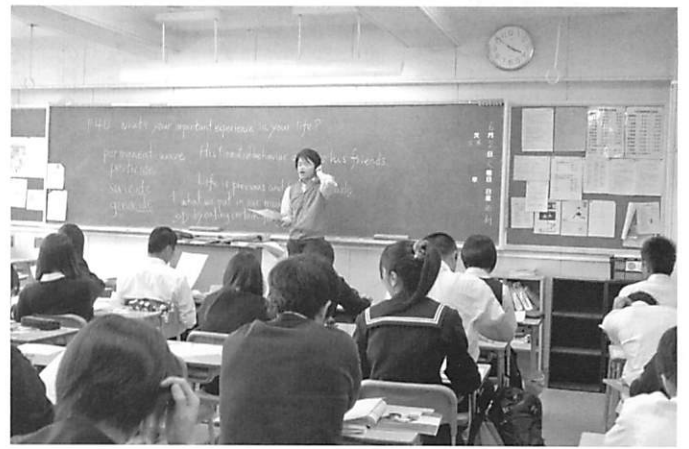
北高祭前夜祭のキャンプファイヤ



昭和30年頃の修学旅行



バスでの通学風景 平成25年



授業風景



華麗なステージパフォーマンス!?



平成25年の修学旅行



# 外科医は世界一の幸せ者

王子総合病院  
心臓血管外科主任科長

## まきの ゆたか 牧野 裕 第40期



この度、「同窓生の活躍」で紹介していただくことになりました。私が活躍しているのかどうかはわかりませんがこの機会に自分の人生を振り返ってみたいと思います。北高を卒業後、北海道大学医学部に入学しました。受験勉強から解放され、友達と遊び、酒を飲み、適度に授業を聞き、適度にサボりと、いたって普通の学生生活でした。しかしそんな学生生活も3年目に入ると本格的な医学の授業、実習が始まり状況は一変します。まず最初に「解剖実習」があります。今思えば、実際に実習で何か

を覚えていくというよりも医師になるための覚悟を試す儀式のようなものだった気がします。3年目4年目は人体の基本を学び、5年目になると、内科や外科といった臨床医学の勉強が始まります。大学病院で白衣を着て実患者さんと話をし始めるのもこの頃です。6年目になると、卒業試験と国家試験の勉強に追われる日々になります。当時は精一杯勉強し頑張ってたつもりでしたが所詮学生時代の苦労は「答え」がある中での苦労であり、社会に出てからの

何が正解かわからない苦労に比べれば大したものではない、というのはみなさんも同じ気持ちでしょう。大学を卒業し、専門分野の医局に入局します。私は実際に自分の手で病気を治すことができ、る外科医にあこがれ、なかでも最も生死の分かれ目に近く、技術が試される心臓外科医になりたくて北海道大学医学部循環器外科に入局しました。20代の心臓外科医の生活は過酷な修行の日々でした。2〜3時間しか眠る時間がない日々が





続き、手術は何時間も立ちっぱなし。昼休みに昼食をとるなんて夢です。当直日は朝から翌日の夜まで勤務。週末も回診があり外科医にとつての休日とは週末の午後だけですが臨時手術があれば休日無しです。昼食をとる暇がない、週末も仕事、は40代になった今でも変わりはありません。

30代になると、より重症な患者さんの手術をするようになり更に

辛くなります。同じ病気でも全く同じ人間はいいませんので経験を頼りにミリ単位で切る長さ場所、針を通す場所、間隔などを変えていきます。思い通りにいかない手術をいかに合格点の手術にするか、合格点の手術をもっと良い手術にできないか、毎日毎日そのようなこだわりを積み重ね手術の質を向上させていきます。

40代。ようやく手術チームのト

ップになります。一人一人の患者さんに対してどの治療がベストか今までの経験と知識を基に手術をしていきます。相手は心臓ですから生きるか死ぬかの真剣勝負です。残念ながら死亡する患者さんもあります。その度に悩み、手術をやめなくなることもあります。なぜそのような辛い仕事を続けているのか？と言われると、やはり患者さんから感謝されることの満足感です。タイトルの「外科医は世界一の幸せ者」とは、とある有名な外科医の言葉です。命が助かってよかった、そんな心境から出る笑顔、ありがたうという言葉、この満足感を得ることができるのは、自身で悩み、苦勞し、決断をし手術をする外科医にしか味わえない喜びです。お金には代えられない価値でありビルゲイツでもこの幸せを味わうことはできないでしょう。

そして今後。

「10年前と同じ手術をやっているようでは外科医の怠慢」

これも有名な外科医の言葉です。どんな優れた手術でも絶対に改善の余地があり、さらに上を目指せということですね。また、若い外科医を育てる立場にもなっています。自分たちの技術や経験を下の世代に伝えなくてはなりません。冒頭に、自分が活躍しているのかどうかかわからないと書きましたが、原稿を書いているうちに、まだまだだな、という気分になってきました。まだ、やるべきことがたくさん残っていますから。



#### ■牧野 裕さんのプロフィール

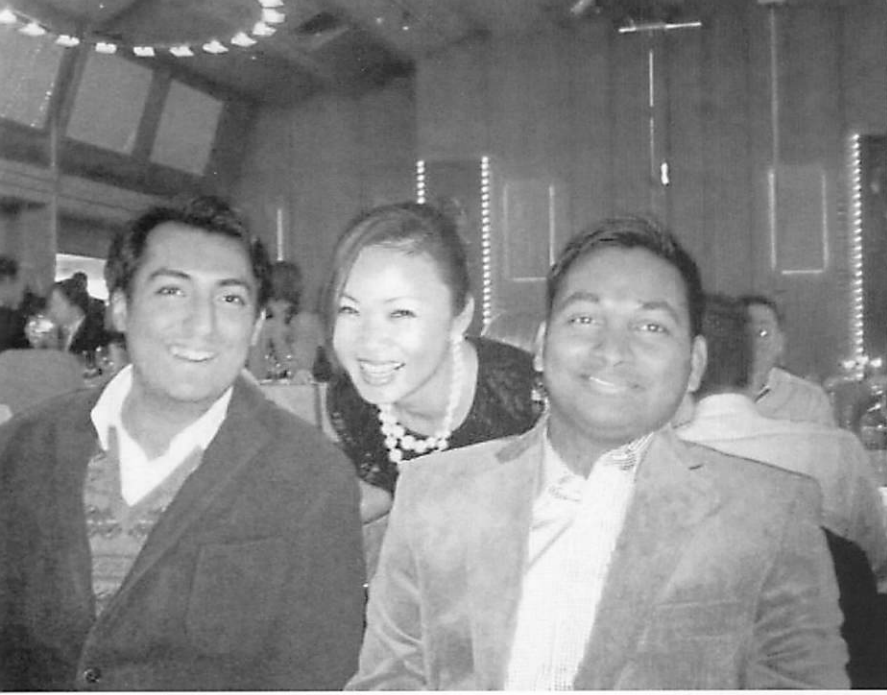
1990年 旭川北高等学校卒業  
1996年 北海道大学医学部卒業  
1996年 北海道大学医学部循環器外科入局  
2003年 北海道大学医学部大学院博士課程修了



## スイス奮闘記

## グリーダ― 洋子 第40期

ようこ



私は今スイスのチューリッヒと

いう街で主人と猫と暮らしていま

す。はやいもので今年で16年にな

りました。これだけたくさんの魅

力的な事やものがある国で、それ

を目指してわざわざこの国にやつ

ていらつしゃる方が沢山いるなか

成り行きでここに住む事になった

私は、恥ずかしながらスイスがヨ

ーロッパのどこに位置し、どんな

言葉話す国なのかさえも知りま

せんでした。そんな準備不足も甚

だしい状態でスイス生活をスター

トした私にはたくさんのサプライ

ズが待ち受けていた訳で、ここで

はそんな事を紹介しようかなと思

います。

まず言葉ですが、九州より少し

小さいくらいこの小さな国は、

公用語が4つもあります。私が住

んでいるチューリッヒはドイツ語

圏ですが、ドイツのドイツ語とは

違うスイスドイツ語が日常会話で

使われており、私を知る限りスイ

スドイツ語だけでも9つの方言が

あります。方言によって全く違う

単語や発音、言い回しが使われる

ため、全ドイツ語圏版の新聞やニ

ュースにはドイツのドイツ語（標

準ドイツ語）が使われています。

こっちにきて最初の約1年弱は、



まず標準ドイツ語がある程度でき

るようになるために、毎日学校に

通って頑張りました。ドイツ語の

知識ゼロなのに授業は最初から全

部ドイツ語で、何を説明されてる

のか全くわからない授業は意味が

あるのかとかなり疑問に思ってい

ましたが、不思議なことにわかる

ようになってくるんですね。方言

は、もう体で覚えていくしかない

言葉で、そのことについてはスイ

スの方もちゃんと認識してくれて

いるらしく、方言を話さない人と

は自然に標準ドイツ語に切り替え



てくれます。外国の方を見かける  
ことすらほとんどなく、ましてや  
日本語以外の言葉を学校以外で使  
う機会など全くなく育った私とは

全く違う感覚が備わっているんで  
しょうね。  
私はトレジャーリーマネージャー  
として何度か転職し、現在は某医

療系の会社のトレジャーリーマネー  
ジメントをしている会社員ですが、  
どの会社でも同期という概念はな  
く、入社日も年取もバラバラで、  
年間25日から30日ある有給休暇は  
休暇として使い切るというのは嬉  
しいサプライズでした。仕事上の  
やり取りも、最初の頃はきつく感  
じられたものの言い方も、今では  
まどろこしい感じがなく、要点が  
掴みやすくていいなと思えるよう  
になりました。でもやはり日本人  
なので、私は完璧にそうはなりき  
れないようです。業務のみならず、  
今でも毎日いろんな事を勉強させ  
てもらっています。

他にもここでは紹介しきれない  
くらい沢山の発見、失敗、驚きが  
ありましたが、スイスに住んで10  
年を過ぎた頃から、チューリッヒ  
のクローテン空港を見ると、「あ  
あ、帰って来たんだ」と思うよう  
になったことに自分の事ながら驚  
いています。旭川はいつまでも私  
の故郷ですが、自分でも気付かな  
いうちに少しずついろんなものを

ここで築いてきたようです。

最後にこの同窓会に向けて、幹  
事として準備に奔走された同期卒  
業の方々、本当にお疲れ様でした。  
そして私にこのような素晴らしい  
機会を与えてくださった事に深く  
感謝しています。今後とも皆さま  
のますますのご活躍とご発展を遠  
くスイスから心よりお祈り申し上  
げます。

#### ■グリーダー洋子さんのプロフィール

1990年 3月	旭川北高校英語科卒業
1992年 3月	静修短期大学 教養学科 国際文化コース卒業
1992年 4月	国際証券旭川支店入社
1997年 2月	イギリス ブライトン市へ語学留学
2000年10月	結婚 スイスへ
2001年11月	Zurich Financial Services AG入社
2011年10月	GE Capital Switserland AG入社
2016年 4月	Nobel Biocare management AG 入社



# 基礎基本に立ち返って

旭川つばさ法律事務所  
所長

佐藤 達哉  
さとう たつや

第40期



1990年に北高を卒業し、現在、旭川市内で法律事務所を運営し、弁護士業務をしております。仕事は多岐にわたりますが、どのような仕事かと問われたとき、私は、「依頼者の正当な法的利益の実現に助力すること」とお答えすることにしています。映画やテレビドラマなどでは裁判所でのあざやかな法廷活動などが描かれることが少なくないですが、これに對して、私の日々は実に地味なものです。たとえば、私が多忙なときは必然事務職員も多忙なので、そのようなときには封筒の宛名書き

や郵便切手貼りといった作業も自分でやることもあります。ただ、このような一見地味な作業こそが大切で、その積み重ね以外にはありえないとの考えで日々の業務を行っております。法律相談にみえる方、事件のご依頼をいただく方、紛争の相手方、その他関係者の方々、感情が昂ぶっておられることも少なくありません。紛争の相手方などから、「弁護士って弱者の味方じゃないんですか」と詰め寄られることもあります。そういう側面はありますが、それは、あ

くまでも冒頭に記した仕事を通してのことです。法律が絡むあらゆる紛争や問題に取り組んでいます。私が特に力が入るのは、子どもに関する事件です。子どもの素直さや可塑性（変わりやすさ、成長しやすさ）には驚かされることが多く、この仕事をやってきてよかった、これからも続けたいという実感を持てることが多くあります。事件をとおして子どもとかかわるたび、自らの成長の乏しさや傲慢な側面にも直面させられます。



また、私は、交通事故で人身被害に遭われた方の、加害者に対する損害賠償請求権の最大化にも取

り組んでいます。この分野では、いまだに「泣き寝入り」をされている方も少なくありません。

## 交通事故問題解決の手引き



TSUBASA

Asahikawa Tsubasa Law Office

### Asahikawa Tsubasa Law Office 旭川つばさ法律事務所



#### 事務所までのアクセス



JR旭川駅から徒歩3分です。

#### 事務所概要

弁護士 佐藤 達哉 (旭川弁護士会所属)  
住 所 北海道旭川市1条通8丁目348番地2  
旭川一栄ビル4階  
TEL 0166-25-5866 FAX 0166-25-5867  
受付時間 午前9時～午後5時  
休 日 土曜・日曜・祝日・年末年始  
アクセス JR旭川駅から徒歩3分。  
事務所サイト <http://www.asahikawa-tsubasa.jp>  
交通事故サイト <http://www.asahikawa-koutsujiko.com>

WEBで検索!  検索

#### 弁護士プロフィール

弁護士  
佐藤 達哉  
Tatsuya Sato



当事務所は、被害者の方のご相談を親身になってお聴きし、依頼者さまを全力でサポートしてまいります。交通事故に遭われた方は、適正な賠償金を獲得するために、まずは弁護士にご相談ください。

#### 経歴

- 昭和46年生まれ 農務小学校、西中学校、旭川北高校、立命館大学を卒業
- 平成13年 司法試験合格
- 平成15年 司法研修所入所
- 平成16年 弁護士登録 (登録番号31R59、第二東京弁護士会)
- 平成18年 旭川弁護士会に登録替えのうえ、「つばさ法律事務所」を開設
- 平成26年 事務所所在地を移転し、「旭川つばさ法律事務所」と改称



どんな些細なことでもご相談に応じます。どうぞお気軽にご相談下さい。

TEL 0166-25-5866

#### ■佐藤達哉さんのプロフィール

- 1971年 上川郡鷹栖町生まれ
- 1990年 旭川北高卒業 (第40期)
- 1995年 立命館大学卒業
- 2002年 司法修習生
- 2004年 弁護士登録 (第二東京弁護士会)
- 2006年 旭川弁護士会に登録替えをし、旭川市内で法律事務所を開設

<http://www.asahikawa-tsubasa.jp/>  
<http://www.asahikawa-koutsujiko.com/>

なにごとにも、基礎基本に立ち返って考えたり動いたりすることを信条としています。もちろん法律専門家としての知識や経験を求め、ご相談やご依頼をお受けします。ので、法令改正のフォローや新しい裁判例の研究などの研鑽は怠らないよう努めています。が、それらは新たな基礎基本になります。

北高ではそのような立ち返るべき基礎基本の原点を築くことができました。と申し上げたいところですが、私の高校生活は、授業はサボって成績は乱高下、振り返ると実にルーズな3年間でした。しかし、その間、友人や諸先生から

の刺激や交流などにより、私なりに自分の頭を使って考えるという作業ができ、自分自身、他者とのかわり、法律を含む社会や国家などの諸問題について、その後の人生においてじっくりと考えることができる土台づくりができたように感じています。

また、生涯の友人を得ることができました。皆、それぞれの仕事や家庭などに忙殺されている世代なのでほとんど会えることはないのですが、いつも心の中にあって励まし合っています。

現役北高生や同窓生の皆様の諸分野やご家庭などでの活躍を耳にするたび、自分が北高生であったことを誇りに感じます。この原稿を書かせていただいたことをきっかけに、改めて、北高で過ごした3年間の気持ちに立ち返って今後の生き方を考えようと、心を新たにしました。



勉強できる時に勉強を

# 谷村 千恵子

たに むら ち え こ

## 第40期



### 北高時代

何故か英語が好きでした。夢は留学して通訳者になりたかったの覚えています。色々な言語を話せるのが凄くかっこいいなって思っていました。北高時代は好きな英語をしっかりと勉強しました。

### 北高卒業後

北高卒業後、札幌北星短期大学英文科に入学、でも自分で「何をしたいかわからないまま北星短大を卒業し、旭川市役所の年金課

で臨時職員として一年近く働きました。旭川で働いている間にカナダの語学学校に申請し、カナダのアルバータ州エドモントン市の語学学校に入学する事ができました。「何」をしたのかわからなかったけれど、英語圏の国に留学したいという夢はありました。

### カナダへ

学生ビザを取り英語圏の国に留学する夢が叶いました。語学学校で一年程英語を勉強した後、大学に行く決心をし、アルバータ州の

レスブリッジ市にあるレスブリッジ大学に大学2年生として編入しました。北星短大の11科目が認められたからです。大学では友達の勧めでビジネス科を専攻し、色々なビジネスコースと必修科目のイントロ経済学、マクロ経済学を取りました。でもビジネス科から経済学科に専攻を替えたのはミクロ経済学をとった時です。ミクロ経済学を勉強して、「これだ！これが私のしたい事だ！」と、自分の求めている「何」かを見つけたのです。

### 経済学への道

専攻を経済学に変更後、自分の好きな科目は勉強しても苦にならないのでとにかく勉強しました。そして勉強する分、良い成績結果で、その良い成績を認められ大学教授から大学院に行かないかと勧められ、ブリティッシュコロンビア州バーナービー市のサイモンフレイザー大学、大学院修士課程に受けました。



## 経済学講師に

大学院では修士と博士学生が学生にラボを教えるTeaching Assistantship (TA) があり、給料が貰えるというので早速やってみました。そのTA経験が今の経済学講師の基礎になったのです。最初は英語が母国語でなく、しかもアクセントもあるという劣等



感がありました。その壁を越えるには長い時間がかかりました。大学院卒業後、色々なカレッジで経済学を教え始め、現在はキャピラノ大学で大学一、二、三年生の経済学を2005年から教え、2009年には経済学学部長になりました。

## 振り返ってみて

もし日本にいたら私は経済学に出会う事はなく、経済学講師にもなれなかったでしょう。自分がここまでこられたのは母のお陰です。

カナダでの留学中の生活費、授業料と全て支援してくれました。そして大学院に行くかどうか迷った時に「勉強できる時に勉強を」と励ましてくれたのです。

大学院で出会った彼と2001年に結婚し、今は10歳の息子と8歳の娘の家族4人、バンクーバー郊外に住んでいます。バンクーバーにいらした際には連絡下さい。

### ■谷村千恵子さんのプロフィール

1990年	北高普通科卒業
1992年	北星女子短期大学英文科卒業
1992年	旭川市役所年金課臨時職員として働く
1993年	カナダへ留学、グラントマックイーワン短期大学所属語学学校入学
1995年	レスブリッジ大学編入
1997年 4月	レスブリッジ大学経済経済学科卒業
1997年 9月	サイモンフレイザー大学経済学大学院入学
1999年	サイモンフレイザー大学院卒業
1999年	サイモンフレイザー大学所属移民研究所で研究員として所属
2001年	コロンビア短期大学で経済学講師として就職、その後、色々な短期大学で経済学講師として経済学を教え始める。
2005年 1月	現在、キャピラノ大学経済学講師として就職。2009年から現在にいたりキャピラノ大学経済学学部長かつ経済学講師として活躍中。



思えば遠くへ来たもんだ

ヤマト運輸  
シアトル・ロジステイクス支店長

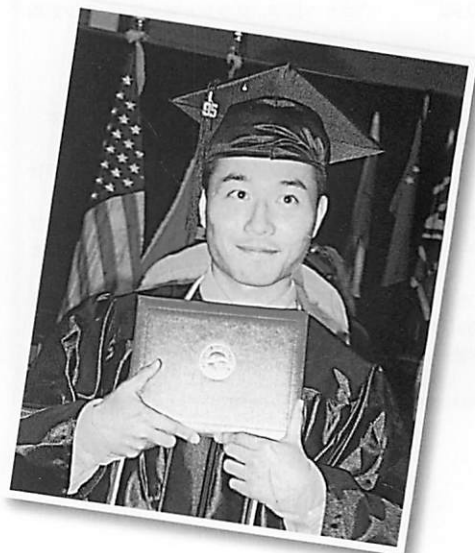
# 福島学 第40期

ふくしま まなぶ

私は現在、旭川から6888km離れたアメリカ・シアトル近郊に住んでいます。スターバックスやアマゾンの発祥の地であり、以前はイチロー選手が活躍したマリナーズがあるので、耳にした事がある方も多いかもしれません。貿易港としても盛んな都市で、私も物流業に関わっています。一般消費財はもちろん、アメリカン・チェリーや馬鈴薯（ポテトチップスの原料）など、皆さんにとって身近な食材も数多く手がけています。お陰様で、最愛の妻と、元気な子ども二人に恵まれ、公私共に人生で一番ハリのある毎日を過ごして

ていますが、振り返ると20〜30代は、異国でのサバイバル生活の連続だったような気がします。中&高の頃、洋楽とハリウッド映画にはまっていたせいかわ、漠然としたアメリカ文化への憧れを持っていた自分が、本格的に渡米を考えるようになったのは関東の大学の在籍時。頼りない英語力で、申込手続きと格闘した結果（当時は手紙とFAX）、ワシントン州の片田舎にある公立大学から編入許可を取り付けました。

順調な入学手続きに比べ、アメリカでの学生生活は、初日から困難を極めました。まず、講師の言っていることがさっぱり分かりません。私が通った学校は、下位10%は在籍していられなくなるというので、真っ青になり、その夜は怖くて眠れなかったことを憶えています。ただ、親の反対を押し切って日本の大学を退学して来ているから、立場は背水の陣。とにかく、教室の最前列に座り、講師の授業を録音し、夜な夜なテープ起こしをしながら講義内容をノートにまとめることから始めました。最初の2年間は、1日18時間位、授業に出ているか、図書







北米報知社記者時代、中谷彰さん達と対談



2011年のアマゾン本社訪問時。



2015年の会社のクリスマスパーティーの写真  
(社員とその家族。自分は、左下の広島Carpのユニフォームを着ています。)

館や学生寮の机に向かっていたと記憶しています。北高時代にサッカー部で鍛えられたお陰で、気力と体力はあったのでしょうか。そんな生活を3年半続けた結果、「限られた時間の中から、最大限の効果を引き出す為に、何をしても、何をしないかという合理的なサバイバル法」を体得していました。

大学卒業後は、州の最大の商業都市であるシアトルに移り、地元新聞社に入りました。最初の仕事は、広告の飛び込み営業。完全

20代後半に、「Number」等の日本の雑誌数社に寄稿し、フリーのスポーツ記者を目指したのですが、才能がないと分かり8ヶ月で断念。日本での再出発を考え、帰国していたところ、現職を得、「サービス業で世界一流を目指す日本企業で活躍する」という新たな目標を胸に、再び海を渡りました。アメリカは競争社会ですから、常に戦闘モードである必要がありますが、比較的ルールを守るフェアな環境でもあるので、私には水が合っているでしょう。新規事

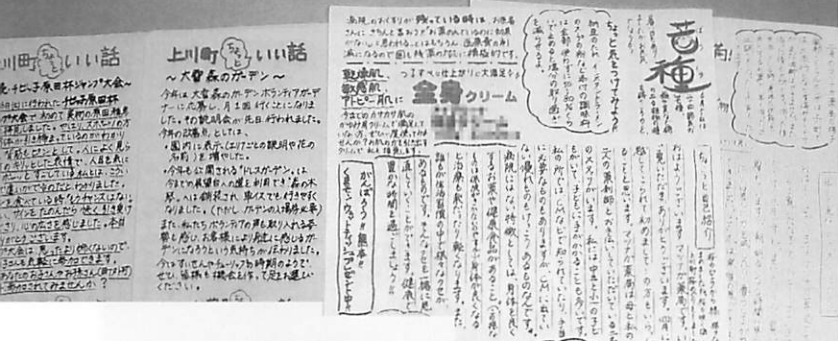
歩合制でしたので、結果が100%自分の収入に跳ね返るシビアな世界。苦勞の連続でしたが、メディアの世界は、好奇心旺盛な自分にとって魅力的だったこともあり、約3年半続けました。その間、野茂英雄選手を始め、海を渡った多くの挑戦者とのインタビュを通して、彼らを持つプロへのこだわりと、哲学の深さに感銘を受けたのを憶えています。私が見つけたビジネスマンとしてのプロ意識も、今となればこの時の経験が元になっているのかもしれない。

**■福島 学さんのプロフィール**

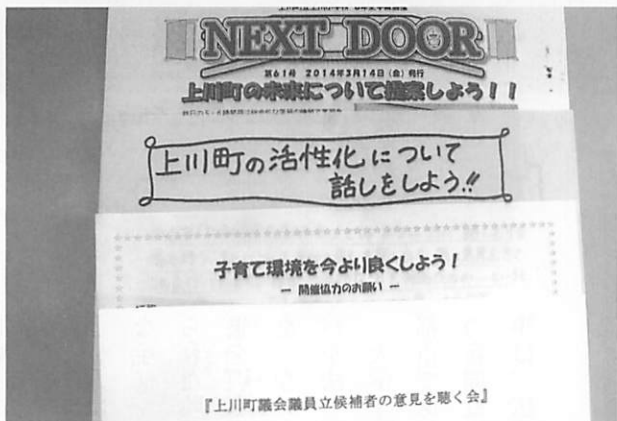
- 1990年 旭川北高卒業
- 1991年 東ワシントン大学編入
- 1995年 北米報知社入社 (シアトル)
- 2000年 Yamato Transport USA, Inc入社
- 2014年より現職

業開発を任せられ、常に交渉の最前線で取り組んで来た結果、世界一流企業を含む数多くの地元企業と良好なパートナーシップを築き上げる事が出来ました。

26年前、スーツケースひとつでシアトル空港に下り立った時から考えると、いくつもの人生の峠を越えて来たと思います。「思えば遠くへ来たもんだ。この先どこまで行くのやら。」武田鉄矢さんの歌にあるように、皆さんも、ふとそう思う事が多いのではないのでしょうか。



(左) お店用 (右) 新聞用



「かみかわの未来を考える会」活動の一部

地域とともに

# 石井 拓子

第40期



こんにちは、同窓生の皆様。今回の原稿依頼には恐縮しておりますが、同じような状況の方と共に励みになればと思います、させていただきます。

さて、私は北高卒業後、仙台市の薬科大学を卒業し（東日本大震災は様々な思いが）、なぜか（？）北海道に戻り、薬剤師として病院勤務を経て、上川町の実家の薬局で仕事をしています。当初は町外からの勤務でしたが、その後、北高入学以後離れた町で約20年ぶりに暮らすようになりました。仕事と育児で日々葛藤する中、あるきっかけが転機となり、地域に興味をもち、地域活動を行うようになりました。

そのきっかけと言うのは、生まれ育った町の朝の空気が格別だと思ったことでした。また、空気の他にも水の良さ、取れたての野菜、物が溢れていない気楽さ……この様な日常の中で、豊かな時間を過ごせる暮らしが贅沢と思ったことは、今までにない価値観となり、私のふる里の見方や意識を変え、行動をも変えました。

一方で長く暮らす住民や若い住民は、町の良さに気づけなかったり、後ろ向きだったり、ここでの暮らしを楽しめず、自信を持ってないことは、かつての私と重なり、とてももったいなく感じたのです。

そこで私は、お店の新聞折込用チラシには町の良い所や提案を、お客様へのお手紙には、より詳しい町の事を書くことを始めました。

しばらくたって「いつも楽しみにしているよ」との声をいた



「まちおこし戦隊カミレンジャー」作成のフリーペーパー

だくようになり、地域の方の町への関心度が高いことがわかりました。また、そんな私の様子を見てくださった方から声がかかり、商工会や役場の会議に参加する機会をいただきました。

その後、住んでいる私たちが地域の財産に気づき、誇りに思い、自分たちの町を楽しくしていきたいという目的をもった仲間に出会い、今では次の三つの団体での活動が生活の一部になっています。

一つめは、四年前発足の「かみかわの未来を考える会」。この会では、様々な立場の方々が一緒によりよい町づくりをできたらという思いから「町議会議員候補者の意見を聴く会」や町民がお互いの意見を話し、共有する場を開催しました。

今、会では、町の存続の危機感を持ち、何ができるのか、さらに模索しているところです。

二つめは、昨年発足した「まちおこし戦隊カミレンジャー」。この会では、町のマスコットキャラクター「かみつきー」を活用し、フリーペーパーの作成（私も文の

作成や取材をしました。）やイベントを行い、上川町のことを、町外だけではなく町内に向けても発信しています。特に町民が町を知ることが、町内の各施設の利用促進や町外の方へのおもてなしにつながります。

三つめは、姉妹提携しているカナダの町との交流活動です。北高在学中に始まった中学生の交流事業で、なぜかホストファミリーに。当時は、カナダには行けない不公平感がありましたが、受け入れ生徒の両親との交流や三十年の交流活動を支えた方を通して、今では一層町に根付かせたいとお手伝いするようになりました。

どの活動も内容は異なりますが、私の中で共通していることは、伝えることで町の方々が気づき、愛着や町を楽しむ気持ちを持ってほしいという思いです。

今、ふる里で暮らす方も離れて暮らす方も、ふる里の良さに気づいていることでしょう。どこにいてもふる里の元気はうれしいものです。

最後に、ふる里の良さに気づい

たのも、年数だけは長く学んでいる漢方の影響でした。上川町の方々が、豊かな時間を過ごせるように、薬局らしい健康作りと漢方で貢献していきたいと思えます。



約30年交流の続く家族と。昨年は長女(右)がカナダに

■石井拓子さんのプロフィール

- 1990年 旭川北高等学校卒業
- 1994年 東北薬科大学薬学科卒業
- 2000年 旭川赤十字病院退社  
南松永薬局入社
- 2005年 上川町に転居
- 2012年 「かみかわの未来を考える会」  
などで活動始める



## 自分を好きになれない貴方へ

禎心会病院脳疾患研究所 上山 博康（北高17期生）

私の北高時代の思い出は、正直言ってほとんどありません。戦後のベビーブームの頂点で、北高の倍率も5倍！北大の医学部が1.9・6倍、東京医科歯科が2.52倍！という凄まじい倍率でした。当時は小学区制で、名門である東高に對抗するため、一年の時から、英数国の三教科は、成績別の授業で、2年生からは、理数系と文科系でクラス別、しかも成績別！という今では考えられないシステムでした。私のクラスは50名全員が男子！3年間、ほとんど女子生徒と話した記憶がありません。風貌も「残念賞」の私は、球技大会やマラソン大会で頑張るしかありませんでした。が！いつも空まわり！登下校時に仲良く話しながら歩いている他のクラスの生徒を横目で見ながら、「医学部はもてるぞー！」という言葉を感じて、北大医学部へ！医学部に入って判ったことは、医学部はモテる！人によって・・・という事実でした。あれから50年！相変わらず、女性にはもてません！自分のことを好きになれなかった私が、変わって来たのは、患者さんを助けられなかった時、言い訳を必死に探す中、事故で死んだ師匠の言葉が晴天のへきれき

のように突然頭に浮かびました。「患者は命がけで医者を信じる。お前は何をかけて手術をするんだ？」という言葉です。土下座して患者の家族に謝りました。ブザマです。後になってからですが、そんなブザマな自分が好きになりました。モテたくて必死に頑張っている自分は好きになれなかったのに、ブザマに土下座している自分は、少しだけですが好きになりました。人生は時間を旅する旅人！その靴には地位も名誉もお金も入りません。思い出しか入らないのです。





# 同窓生から

## 北高の思い出

塚田 麗子 (旧小峰)

(北高27期)

「マネージャー!?」全く考えていなかったことで悩みました。でも、それも一瞬!マネージャーをやることにしました。

陸上部はほかに比べ、部員は少数でしたが、三栗先生を中心に明るく、中・長距離を走る先輩方が強くて優しかったです。

私は「入学後は新校舎に。」という何となくの噂の中、廊下を自由に鳩が飛び交い、窓枠には白いフンが「ポタポタ」と落ちていた、旧木造校舎の最後の卒業生です。

中学時代は合唱部、あの頃、旭川ではけっこう強く、一年生の時、全道大会に向け、NHKで「ドキドキ」しながら録音したことを覚えています。学校祭での独唱など、合唱は今でも私の中で生きています。

さて「高校に入ったら何をやるのかな?」「今度はスポーツ!バレー部とかかな?」と考えていたある日、中庭で、中学時代の先輩に「陸上部のマネージャーにならないか!」と声をかけられました。

とられながらも走る先輩方を、コースそばからラップをとり、見守ることが幸せでした。中庭の狭く汗と砂ほこりでむせるような部屋。「大変なこともあったかな?」でも「マネージャー」をやらせてもらって本当に良かった。卒業後、近く遠くなかなか会えず年賀状のみの友。ゴルフコンペや飲み会にたま〜に誘ってくれる友。会えば何故か、数十年の時を「ぐ〜っ。」と越えて高校時代に

戻れちゃう!

そんな友と結び付けてくれた北高の三年間。

今もこれからも「ず〜っ。」と大切な日々!

## 人のつながりの中で



浜辺 令

(北高45期)

旭川北高を卒業して約20年が経ちました。不思議な事に今でも当時の出来事や仲間との会話が普通に蘇ってきます。

今は旭川市内で自営業で家具、雑貨等を扱うインテリアショップと地元の東川町にて洋服や雑貨等を扱うセレクトショップと飲食店を営んでいます。卒業してからは様々な職を経験させてもらったり、色々なジャンルの方々とお仕事、お付き合いをさせていただいています。そんな中でも学生時代に出会った仲間とは今でも連絡を取り

合ったり、お酒を飲みかわしたりいつまでたってもあの頃のまま変わらない関係性があります。思えばそういったコミュニケーション能力を培ったのも北高時代が特に色濃く、今に繋がっているのかなと思わされる場面も多々あるわけ、仕事柄海外に行く事や、全く知らない土地に赴き挨拶を交わすときには「なんだか初めてのクラスで自己紹介をしたときに近い感情だななんて思ってみたり。そういういった場面を繰り返して、偶然出会った人の中でも北高出身というだけで話が弾んだり、スムーズに商談が進んだり(笑)。ときには20歳以上離れた北高の先輩からも北高出身なんだって?と言われる事も。世代を超えて、そういう話が出来たりそれで心を開いてくれたりと人のつながりでいくつものいい出会いが生まれるのってとても嬉しいものです。歳を重ねていくほどにそう思わせてくれる、同窓生というのはいいもんですね。



進路指導部  
(全日制)



中林 信也

【国公立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H23	H24	H25	H26	H27
北海道大	15	11	12	17	3
北海道教育大	22	19	24	30	26
室蘭工業大	7	4	3	7	11
北見工業大	4		4	4	4
小樽商科大	3	3	8	5	4
帯広畜産大	1	3		1	1
旭川医科大	5	6	2	5	4
弘前大	8	13	6	8	8
岩手大	1	1	3	6	6
東北大	3		2	1	2
秋田大	3	1	1		1
山形大	1	4		6	3
福島大					
茨城大	1	1			2
筑波大	1		1	1	
宇都宮大		2			1
埼玉大		6		2	
群馬大	2	1	1		1
電気通信大		2			
東京学芸大		1			
東京工科大			2		
東京外国語大	1			1	
東京農工大	1		1	1	
横浜国立大	2	1	1		2
新潟大	7	7	12	7	4
岐阜大					1
金沢大	6			3	3
信州大	2	1		3	
静岡大	1	3		3	1
名古屋大	1	1		1	1
京都大			1	1	1
京都工芸繊維大			1		
大阪大	1				
神戸大		1			2
広島大	1	2		1	
長崎大					1
琉球大		1	1		1
札幌医科大学	2	1	1		3
公立はこだて未来大	4	1	3	2	1
釧路公立大	5	6	7	2	2
札幌市立大	2	4	2	1	2
名寄市立大	5	5		5	3
高崎経済大	1		3	2	
千葉県立保健医療大		1			1
首都大東京	2	1			1
横浜市立大	3	2			2
都留文科大			1		
神戸市外国語大	1		1		
その他	7	11	8	13	2
国公立大計	130	125	113	141	109

\*旭医大医学科 H23(1), H24(3), H26(2), H27(1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H23	H24	H25	H26	H27
藤女子大	11	8	15	5	12
北星学園大	9	15	18	12	15
北海学園大	29	34	21	44	29
天竺大	1	6	3	3	5
北海道薬科大	2	7	6	5	7
酪農学園大	2	5	4	4	4
北海道医療大	17	19	12	15	13
日赤北海道看護大		2	1	5	6
北海道文教大	7	11	13	6	11
獨協大	5	2	1		1
青山学院大	5	3	1	5	4
学習院大	1		1		1
慶應義塾大			1		
東京女子大		1		1	1
駒澤大	3	2	3	1	3
駒澤大	1	3			
専修大	4	1	2		1
創価大	2	2	6	1	2
創大	9	8	8	8	5
津田塾大	1	1			
東海大	4	3	3	3	3
東京農工大	5		3	2	7
東京理科大	5	4	3	3	3
東洋大	2	4	3	5	3
日本大	3	4	2	5	2
法政大	7	3	5	9	9
明治大	2	3	2	7	6
明治学院大	1	2		3	2
早稲田大	1	6	2	3	6
早稲田大	1	3	3	1	3
神奈川大	2	5	3	2	3
京外大	1				1
京志大	3	2	1	1	1
同志社大	1				
同志社女子大	2				
立命館大	2	1	3	6	1
関西大	1			1	
関西学院大	1	1	3	2	3
その他	54	66	46	81	80
私立大合計	204	236	217	249	253

【公務員・民間就職合格者数】(現役)

種類	H23	H24	H25	H26	H27
国家公務員			1	1	3
道職員	1	2	1		2
市町村職員			3	2	2
他の公務員	6			1	1
民間就職			1		

平成二十七年年度の卒業生は、単位制導入後、八回目の卒業生になりました。単位制の進路指導では、一年次より、将来を見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。早期より本物に触れさせることによって、自分が何のためにその大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持てるように進めています。

この年次は、一年次のときから、渡辺年次主任を中心に、学習指導、進路指導に積極的に取り組む、自分の進みたい進路を明確にし、最後まで納得のいく受験を貫くことを目標に伸ばしてきた学年です。生徒の学習へのモチベーション維持に努め、進路ノートの活用、教科ごとの模試分析や生徒一人ひとりの進路検討会など、細かな指導を継続的に実施してきた年次でした。

今春の大学入試センター試験では、昨年易化した「国語」が更に易くなり、これまでない高い平均点となりました。逆に、数学ⅠAと化学基礎が難化し、看護や芸術系を希望する生徒には厳しい結果となり、今後はセンターだけでなく、各大学の入試も多様化しており、しっかりと対応できる力の育成が大事になっています。

本校の最終的な大学入試の結果は、九十七名が国公立大学の現役合格を果たし、昨年と比べて若干少ない結果となりました。この背景には、「自分が納得できる受験をした」と考えます。特に、最近道外人気が

高まる北海道大学は、大変厳しい結果となりました。しかし、それ以外では三年連続で京都大に一名、旭医大医学科に一名、東北大に一名、また久しぶりに神戸大にも二名の現役合格者を出し、かなり健闘したと言えます。

私立大学でも、首都圏の早稲田大をはじめ、難関私立大への進学を希望する者が年々増加傾向にあり、自分の研究したい学部のある大学や、より高度な専門の研究ができる大学を積極的に調べ、自分に合った私立大学への進学者も確実に増加しています。

以下には十年前と比較した表を示しました。単位制になり国公立大学への進学者を増やしてきましたが、進路学習を進める上で、特徴的なカリキュラムを持つ、私立大学への志願者も出てくるようになりました。今後もしばしば細かい進路指導を推進し、生徒個々の生き方を大事にした進路選択を支援していきたいと考えています。

平成27年度 進路別人数 卒業生の進路

区分	合計			前年			
	男	女	計				
卒業生数	115	124	239	240			
進学者数	113	123	236	234			
進学者数	90	113	203	210			
進学者	大学	国公立	道内	28	29	57	66
			道外	26	10	36	50
		私立	道内	17	28	45	40
			道外	12	22	34	34
	短大	国公立	0	0	0	1	
		道外	0	0	0	0	
	大	私立	0	7	7	7	
		道外	0	1	1	0	
	内	大学	学校等	0	0	0	0
			道内	0	10	10	10
専門学校		看護	0	1	1	0	
		その他	4	5	9	1	
就職	道内	3	0	3	1		
	道外	0	0	0	1		
公務員	2	1	3	1			
民間	0	0	0	1			
自営・家事手伝	0	0	0	0			
その他(未定を含む)	23	10	33	28			

国公立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H13	H14	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学級数	8	8	6	6	6	6	6	6
合格者数	90	93	98	106	104	91	120	97
人/クラス	11.3	11.6	16.3	17.7	17.3	15.2	20.0	16.2

難関国立大、医学科合格者数 (現役)

大学名	H13	H14	H22	H23	H24	H25	H26	H27
北大(文系)	1	1	7	2	3	3	2	1
北大(医理系)	10	5	8	12	3	7	11	1
旭医大(医)			1		3			1
東北大	1		3	3		2		1
筑波大		2	1	1			1	
一橋大			1					
東京外国語大				1				1
名古屋大				1				
京都大						1	1	1
大阪大				1				
計	12	8	21	21	9	13	16	5



# '16 部活動 報告

## ●野球部

現在、自分たち野球部は三年生十三名、二年生十三名、一年生十一名、マネージャ一三名の計四十名で活動しています。

去年秋の新人戦で旭川工業高校に大敗を喫し、一度チームはどん底まで落とされました。しかし、冬の練習を経てきた自分たちは、春の大会で一回戦、二回戦と勝ち進むことができましたが、準々決勝で明成高校に敗北してしまいました。

今、チームは自分たちにとって最後の大会となる夏の大会に向けて細かなことまで徹底し、日々練習しています。十二年ぶりの甲子園出場を目指し、また北高野球部に関わるすべての方々に勝利という形で恩返しできるように頑張ります。

## ●ソフトテニス部

今年度は3年生6名、2年生6名、1年生1名の女子計13名で活動しています。5月に行われた高体連支部予選では、団体戦で決勝トーナメントに進みましたが、残念ながら全道大会の切符を手にすることはできませんでした。3年生は高体連を最後に引退し、この悔しさは後輩に引き継がれることとなりました。

現在は兼光部長、倉内副部長の新体制のもと、練習メニューを練り直し、より実戦で生かせるプレーの向上を目指して、日々

懸命に練習に励んでいます。まずは夏の団体、そして秋の新人戦での全道大会出場が目標です。部員同士の仲も良く、互いに意見交換しながら、楽しく、時に厳しく練習に取り組み、コートで爽やかな汗を流しています。

なお、今年度は入部者1名のため、現在7名(3ペア+1名)でペアを組むのが難しい状況です。お知り合いの方が本校1年生女子にいらつしやいましたら、ソフトテニス部をお勧めいただけますと大変助かります。今後とも北高ソフトテニス部をどうぞよろしくお願いいたします。

高体連支部予選結果  
団体戦  
決勝トーナメント  
準々決勝 ×旭川北 0-2 旭川商業

## ●硬式テニス部男子

今年度の男子テニス部は、3年生9名、2年生8名、1年生6名の計23名で活動している。昨年度の新人戦の団体戦では、旭川開催ということで、2校+1校のボーナズ枠で3校出場できた。そして、本校は支部大会で3位に滑り込み、全道大会に進出することができた。団体戦での全道大会出場は、久しぶりだったので喜びもひとしおであったが、全道での実戦で差を痛感することとなった。この差を埋めたいという気持ちは、冬へのトレーニングのモチベーションとなった。

そして、高体連。本校は、残念ながら個人戦・団体戦とも全道出場はかなわなかったが、気持ちの入った試合は後輩達にしつ

かりと伝わった。現在新体制となり、1・2年生の14名は、花咲のコートを中心に新人戦をめざしてトレーニングに励んでいる。みな高校からテニスを始めた集団なので、何かをつかみかけたときにはもう引退の時期というのが多い。それでも、テニスを通し自分と向き合うことで、積み重ねることの大切さや、周囲の支えを感じ、それらは自分の成長へつながっている。本年も全道を目指して、部員一丸となってテニスに打ち込んでいきたい。

## ●硬式テニス部女子

女子テニス部は、五月に行われた高体連旭川支部予選で、団体戦は二回戦で負けてしまいました。個人戦ダブルス優勝、個人戦シングルス優勝という結果でした。特にシングルスは三年連続北高生が優勝しました。六月に行われた全道大会では、ダブルス二回戦シングルス二回戦で、敗退しました。

本来であれば三年生引退、そして新チームに移行となるのですが、三年生がいらないため、今後は現二年生四人に新入部員四名を迎えるの活動となります。新入部員の中には、今後は楽しみな選手もあり、秋季大会に向け頑張らせたいと思っています。

## ●男子バレーボール部

今年度は選手・マネージャー合わせて23名でスタートしました。高さもなく個人の技術力も劣っています。粘り強く拾ってつなく全員バレーで高体連支部大会では実業高校に次ぐ第2位という結果で3年ぶりの全道大会出場を果たすことができました。

また、開会式では入場行進の優れた学校に与えられる入場行進賞もいただくことができました。

今年のレギュラーには、高校からバレーを始めた3年生が2名入っています。このことは後輩達の励みと自信になったと思います。全道大会では予選グループ戦で天塩高校には2-0で勝ちましたが、決勝トーナメント戦では岩見沢緑陵に0-2で負けました。

新チームはさらに身長が低くなり苦しい試合が多くなると思いますが、新しい北高のバレーを工夫して頑張りますので応援よろしく願います。

## (大会結果)

- ◇旭川支部春季大会
  - 2回戦 旭川北 2-0 旭川南
  - 準決勝 旭川北 0-2 旭川実業
  - 3・4位戦 旭川北 0-2 旭川東
- ◇高体連旭川支部予選会
  - 予選グループ戦 旭川北 2-0 美瑛
  - 決勝トーナメント戦
    - 旭川北 2-0 旭川西
    - 旭川北 0-2 旭川実業
    - 旭川北 2-0 旭川工業
    - 旭川北 2-0 旭川東
- ◇高体連全道大会
  - 予選グループ戦 旭川北 2-0 天塩
  - 決勝トーナメント戦 旭川北 0-2 岩見沢緑陵



●女子バレーボール部

今年度は、3年生3名、2年生8名、1年生8名の合計19名で活動を開始しました。新チームのスタートは昨年度のレギュラーが1名しか残らない厳しいものでしたが、キャプテンを中心に数少ない3年生がよくまとまり、確実にチーム力を向上させてくれました。結果として、春季大会で旭商に敗れたものの2セットともに20点以上得点することができ、大きな自信になりました。高体連でも、最後は旭商との対戦となりました。1セット目は16点でしたが、2セット目は22点まで粘り強く戦ってくれました。今後もシード校に堂々とチャレンジできるチームを目指し活動を続けていきます。

◇旭川支部春季大会

- 1回戦 旭川北 2-0 旭川永嶺
2回戦 旭川北 0-2 旭川商業
◇高体連旭川支部予選
予選グループ戦
旭川北 2-0 旭川南

決勝トーナメント

- 1回戦 旭川北 2-0 羽幌
2回戦 旭川北 0-2 旭川商業

●サッカー部

サッカー部は三年生の多くが引退した後、現在一年生十六人、二年生十五人、マネージャー三人、そして顧問の菅井先生と副顧問の中林先生の計三十六人で活発に練習しています。高体連では、二回戦で富良野緑峰高校、三回戦で旭川南高校を破り、昨年に続き準決勝まで進みましたが、旭川永嶺高校に1対2と惜敗し全道大会出場を惜しくも逃しました。

●卓球部

高体連旭川支部大会の結果は、男子学校対抗戦で第2位で全道大会決定、女子学校対抗戦は惜しくも第3位でした。個人戦でも男子ダブルスで長谷川・六戸組が第5位、女子ダブルスで植松・塩飽組が第2位、男子シングルスで長谷川が第3位、六戸が第5位、女子シングルスで塩飽が第5位で全道大会出場を決めました。

◇高体連旭川支部予選結果

- 男子学校対抗戦予選トーナメント
旭川北 3-0 旭川高専
旭川北 3-1 羽幌
男子決勝リーグ
旭川北 3-0 旭川工業
旭川北 3-0 留萌
旭川北 0-3 旭川実業

女子学校対抗戦予選リーグ

- 旭川北 3-0 旭川農業
旭川北 3-0 旭川高専
旭川北 3-1 旭川西
旭川北 3-2 留萌
旭川北 1-3 旭川東
女子決勝トーナメント

●バドミントン部

バドミントン部は男子22人、女子19人の計41人で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。今年も、顧問の先生をはじめ、OBやOG、大学生や実業団選手の方々など多くの方々の応援とご支援をいただき、新人戦全道大会では女子団体3位、個人戦ではダブルス、シングルスともにベスト8という結果を残すことができました。また、高体連全道大会では女子が団体戦、個人戦ともに出場することができました。

◇高体連全道大会

- 平成28年5月30日〜6月1日 旭川市
男子団体 1回戦敗退
女子団体 第2位
男子複 大柄・田口 3回戦敗退
森木・安達 2回戦敗退
川等・両角 2回戦敗退
小西・小松 第3位
片測・笹谷 ベスト8
松田・小中 ベスト8
安達 2回戦敗退
森木 1回戦敗退
大柄 1回戦敗退
小中 第3位
片測 ベスト8
笹谷 ベスト8

【主な大会結果】

- 高体連支部大会および各種全道大会
◇北海道高等学校新人大会
平成28年1月13日〜16日 岩見沢市
女子団体 第3位
女子複 片測・笹谷 ベスト8
小松・小中 ベスト8
女子単 小中 ベスト8
片測 2回戦敗退

◇国民体育大会北海道予選

- 平成28年5月13日〜15日 釧路市
女子複 小西・小松 ベスト8
片測・笹谷 1回戦敗退
片測 3回戦敗退
小中 2回戦敗退

●剣道部

僕たち剣道部は、二年生二人、一年生六人の計八人で活動しており、とても熱気のある部活となっています。目指す目標は全道優勝です。その目標に向かって毎日、三沢先生、増川先生の厳しい指導のもとで練習しています。しかし、北高は進学校ということもあり、練習量で他校に勝つことは難しいです。そのため限られた時間の中で集中して、互いに教え合い高め合いながら日々の練習に打ち込んでいます。大会ではそういった練習で培われる「進学校の剣道」という集中力で他校と戦うことを意識して



います。

最近では「勝つこと」だけにこだわり、力任せの剣道や礼儀がない無作法な剣道がまれに見受けられますが、本来の剣道とは気力で相手を圧倒し、打って反省打たれて感謝という風に礼儀を重んじる競技です。僕たちは剣道を通して、人間的に成長し、素晴らしい仲間と巡り会うことができました。これまでやってこれたのも保護者や周りで支えてくださるたくさんの人たちの支えがあってこそということをお忘れずに、少数ながら目標に向かって活動していきたいと思えます。

### 高体連旭川支部大会

- 男子団体 三位
- 女子団体 三位
- 男子個人 森下 第五位
- 女子個人 伊藤 第六位

### 高体連全道大会

- 男子個人 森下 ベスト十六

### ●陸上競技部

私たち陸上競技部は、男子14名、女子15名 計29名で活動しています。

今年の高体連旭川支部大会では旭川大学高校に次いで女子総合2位、3年前は男子総合優勝を果たしており、管内でも強豪となりつつあります。また、全国大会にも毎年進出しています。今年も、岡山インターハイに女子が1名出場権を獲得しております。

### ●男子バスケットボール部

顧問の足立先生、副顧問の田中先生の下、3年生9人2年生10人1年生9人マネージャー4人で活動しています。

全道大会出場を目標に日々練習に励んでいます。また、バスケットだけではなく生活面でも指導を受け、勉強にも励み「文武両道」を目指しています。

新人大会では、準決勝で敗れ全道大会出場を逃しましたが、高体連でそのリベンジを果たし全道大会に出場することが出来ました。

全道大会では、初戦敗退という悔しい結果に終わりましたが、貴重な経験をすることが出来て、先生方やチームメイトに感謝しています。

後輩たちも全道大会に出場し、僕らより良い結果を残してきてほしいです。

### キンシイカップ

- 準優勝

### 選抜優勝大会

- 3位

### 秋季大会

- 準優勝

### 新人大会

- 3位

### 春季大会

- 準優勝

### 高体連旭川支部予選

- 準優勝

### 北海道高等学校

- バスケットボール選手権大会

- 1回戦

- 旭川北 47-72 札幌北海

### ●女子バスケットボール部

私達はブレイヤー三年生6名、二年生三名一年生二名の合計十一名で活動しています。

昨年は全道大会に出場しました。夢の全

国大会に向け、「心をこめて」頑張ります。

- キンシイカップ 準優勝

- 選抜旭川予選 二回戦敗退

- 秋季大会 二回戦敗退

- 新人旭川予選 二回戦敗退

- 旭川地区春季大会 第三位

- 高体連支部予選 二回戦敗退

### ●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、高校から始めた初心者が多いのですが、「打倒 旭商！ 小野崎先生に勝利を！」を目標に、顧問の小野崎先生、本田先生をはじめ、たくさんの方々を支えられながら、日々一生懸命練習に励んでいます。夏は、チーム数の少ない中、合宿や遠征で練習試合をして経験を積み、冬は個々の技術を上げるべく、バットを振ったり走り込んだりしています。

今年の高体連では、三年生を中心としたチームで守備もバッティングも好調で、相手のミスもあり、順調に点を重ねることが出来ました。しかし、中盤、無得点で抑えられると、その裏にこちらの隙をつかれ一気に逆転されてしまい、その後も取って取られての接戦の末、悔しくも負けてしまいました。しかし、全道大会が当麻町での開催であったため、私たちは開催地校代表校として幸運にも、全道大会へ出場することができました。そして初戦、強豪の集まる札幌地区の第4代表である当別高校と当たり、好プレーや攻撃でのチャンスは何回かあったものの、活かし切れずに2得点で抑えられて終わってしまいました。しかし、その試合では、先輩たちの楽しむ様子や団結力が感じられ、とてもよい試合だったと

思います。そして、先輩たちは私たち後輩に、普段の練習の積み重ねの大切さを教えてくれました。それを忘れることのないように、これからの練習に励んでいきたいと思えます。先輩たちとプレーできなくなるのはとても悲しいのですが、先輩が残してくれたものを大事にし、技術をたかめていきます。

新チームは、ソフトボールができる人数が揃っておらず、大変な面も多くあります。しかし、「打倒 旭商！」という目標は揺らぐことはないで、一日でも早く人を集め、今度は自らの実力で全道大会に進めるよう、感謝の気持ちを忘れずに練習に励んでいきます。

これからもソフトボール部を、温かい目で見守っていただけると嬉しいですよ。

### ●山岳部

山岳部は男子8名女子2名で顧問の竹中先生、細野先生、及川先生と楽しく活動しています。

活動は土日の登山を中心として、登山のない平日は週2回、トレーニングや大会に向けた学習会を行っています。

昨年は、夏に3泊4日の日程でクワンナイ沢合宿、冬はスキー登山など、普通の高校では行けないような山にも多く登ってきました。肉体的にも精神的にもつらい登山の中で得た達成感や仲間との絆はかけがえないものになります。

そして平成28年度の地区大会は旭岳で行われ、北高からは男子2パーティー、女子は研修隊として参加し、全員が大会コースを踏破することができました。男子は準優



勝を飾り、狩場山と長万部岳で開催される全道大会の出場権を獲得しました。全道大会では、今までの経験を最大限に生かし、楽しむことも忘れずに、全国大会を目標に頑張りたいと思います。

●少林寺拳法部

今年度は、男子9名・女子15名の計24名で活動しています。昨年度の新人戦全道大会では男子規定単独演武1位、女子規定組演武2位となり、全国大会出場を果たしました。6月の高体連全道大会では残念ながら全国大会出場を逃しましたが、12月の新人戦では男女ともに全国大会に出場できるように今後も練習に励んでいきたいと思っております。



高体連全道大会  
(6月11・12日 会場 北海学園札幌高校)  
(男子)

団体演武

- 千葉③・窪田③・片野③・沖田③
- 本田②・石川②・大根昇①・中村①組

出場

組演武 千葉③・沖田③組 本戦出場  
見習単独演武 大根幸① 1位

大根昇① 2位  
中村① 本戦出場

(女子)

団体演武

- 井上③・國分③・糸川③・野口③
- 杉山②・熊谷②・山田③・北條②組

2位

組演武 井上③・國分③組 本戦出場

野口③・杉山②組 本戦出場

熊谷②・北條②組 本戦出場

総合 2位

●アーチエリー部

アーチエリー部は3年男子1名、2年男子5名女子4名、1年男子12名女子7名の計29名で活動しています。1年生が一挙に19名も入部し、大変ありがたくうれしい反面、弓具の調達や練習場の確保に苦労しています。

6月8日からキロコで行われた春季全道大会(高体連)では、男女とも団体準決勝で敗れ、全国出場を逃しました。全体の競技レベルが向上しており厳しい戦いが続きますが、今年の悔しさを忘れず、来年こそは団体でのインターハイ出場を実現したいです。

現在は若手団体への出場や、さらに秋季全道大会(新人戦)で全国選抜大会の出場権を得ることを目標に、練習に励んでいます。なお8月に三重県で開かれる全国高等学校ブロック対抗戦(1・2年生の代表選手による強化事業)に、北海道ブロック代表として本校の女子3名が出場します。出

場する3名にとっては初の全国規模の大会となりますが、多くのことを学び、刺激を受け、次に生かせたらと思っています。

故佐藤正志先生のご尽力によりアーチエリー部は全国に名を知られた強豪校となりました。復活までは遠い道のりですが、少しでも近づけるよう、これからも努力して行くつもりです。どうか応援をよろしくお願ひいたします。

●囲碁部

5月19日、20日に旭川市トーヨーホテルにて高文連北海道囲碁選手権大会が開かれました。

本校から3年渡辺輝秋が個人戦Aクラスに出場し、3年増茂界心が個人戦Bクラスに出場しました。

結果は残念ながら渡辺は一回戦での敗退、増茂も一回戦での敗退となりました。

●吹奏楽部

吹奏楽部は今年1年生19名を迎え、総勢47名で「聴衆に感動をあたえられる演奏をしよう」を目標に部員全員が一丸となって精力的に演奏活動を行っております。現在は北高祭や吹奏楽団体コンクール、第41回定期演奏会に向け毎日練習に励んでいます。平成27年度の活動内容および成績

高文連上川支部音楽発表大会  
吹奏楽コンクール部門 奨励賞

北海道吹奏楽団体コンクール旭川地区予選  
高等学校A編成の部 銀賞

北海道個人・アンサンブルコンクール  
旭川地区予選

サキソフォン独奏 銀賞

ユーフォニアム独奏 金賞  
クラリネット五重奏 銀賞  
金管八重奏 金賞

第2回スプリングコンサート  
(於：旭川市大雪クリスタルホール音楽堂) 主催  
第40回定期演奏会

(於：旭川市民文化会館大ホール) 主催  
北海道音楽大行進、アフターコンサート参加  
末広地区ふれあいコンサート参加  
あさひかわ音楽の夕べ 依頼演奏

校内活動

入学式、新入生歓迎会、野球応援、北高祭、卒業式にて演奏



●美術部

今年度部員は1年生7名、2年生8名、3年生6名の合計21名(男子部員5名)となりました。5月の実技研修会が終わり、

現在は北高祭装飾に多くの部員が関わり、連日会議を行っています。例年通り北高祭ポスター、マスケットキャラクターは美術部員の作品が採用されました。北高祭終了後は高文連の作品制作に集中します。ここ数年、部員全員が全道大会へ出場しており、2年連続で総文祭(全国大会)へも出品していますので、今年も完成度の高い作品を仕上げてくれることを期待しています。

### ●音楽部

部員数は39名になりました。音楽部室は手狭ですが、軽音楽(バンド演奏)やマンドリンなど、精力的に活動しています。

活動は学校祭を中心に、図書館コンサートやクリスマスイベント・ライブなどで、主にJポップの曲を演奏しています。また学校祭では「テーマソング」も作っています。

昨年は先輩方がライブ演奏で前夜祭を盛り上げました。私たちも後に続くよう頑張っているところです。

### ●書道部

今年度は、三年生七人、二年生三人、一年生二人で活動しています。現在は北高祭の展示と高文連に向け、各々が一生懸命作品制作をしています。

高文連の大会で研修をするのももちろん、その後も作品鑑賞や他校との交流で刺激を受けたことを活かして、日々書道教室で黙々と書いています。

春休みには上川地区合同合宿に参加し、年度の締めには自分の力量を測るとともに、全国レベルの作品から学んだり、他校の顧問の先生に講評やお手本を書いていただくなど、貴重な経験となりました。本当にたくさんのことを学び、大変充実した合宿でした。

基本的には活動時間が自由な北高書道部ですが、講師の照井先生や顧問の柿原先生のアドバイスを参考にして活動しています。書道部はこれからも楽しく、かつ有意義な部活動を発展させ、長年続く伝統を後輩に継承するという自覚を持って自らの課題に挑戦します。

### ●演劇部

今年度は新入部員が1名入部。2年3名、クラス3年3名の合計7名で活動しています。5月28日(土)に行われた、高文連上川支部演劇専門部「氷点華」(合同公演)では、阿部順作、「やつぱりババイヤ」という作品を上演し、本校部員もキャストにスタッフにと活躍しました。入場者も多く、公会堂がほぼ満員でした。本校の演劇も、ここ数年は自分達で台本を作るという方針が浸透しており、本年度も、2年生が書いた台本で練習を進めています。高校生の感性を活かした面白い芝居になりそうです。本年度もこのように活動しています。

### ●華道部

私たちは現在、三年生二名、一年生一名で毎週水曜日に楽しく活動しています。少人数ではありますが、立岩先生にご指導いただき、一人ひとりが着実に上達しています。毎回違う種類の花を生けるので、なかなか思い通りに表現できないこともあります。季節ごとに異なる様々な花とふれあうことができ、感性が磨かれていると日々感じています。

学校祭では、日々の稽古の成果を発揮するため、より一層心をこめて作品を作り上げます。普段より豪華な花材で個人の作品の他、部員皆で一つのセンターピースを生けます。ご来場の方々に花を通して癒しを提供できるように工夫しています。

毎年秋にはインターネット花展に出品し、出展作はウェブ上でご覧いただけるようになっております。普段とは一味違う活動でとても勉強になります。

### ●茶道部

この伝統ある華道部と日本の華道の精神を守り、より一層飛躍していきたいと思えます。

二十八年度、一年生の入部は女子十名で、二年生七名、三年生五名、計二十二名で活動しています。また、今年度は、留学生のマリアさんが特別入部ということで、稽古に参加しています。月曜日は技芸講師の立岩先生のご指導のもと稽古に励み、木曜日は自主練習で、三年生が中心となり基本練習の席入や吊紗さばき等の割稽古を行っています。五月には、同門会の春の茶会に参加しました。

七月の学校祭は、日頃の活動成果を披露できる唯一の場です。五月から北高祭のお茶会に向け、より上達したお手前を披露するために各々が時間をみつけてはお手前の練習に励んでいます。

三年生は七月で引退し、八月からは二年生が中心となり部活動が行われます。一年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け

継いでくれることを願っています。これからも茶道を通して礼儀作法や人を中心からめなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思えます。

### ●インターアクト部

私たちインターアクト部は、旭川北ロータリークラブのご支援のもと、ボランティア活動を中心とした様々な活動に取り組んでいます。

インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視野に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。毎週の定例ミーティングで、「自分たちができること」を部員同士で相談しながら、ボランティア活動に取り組みしていきます。活動内容は次の通りです。これから





も頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

①美化活動

- ・ 旭川冬まつり会場跡地の清掃活動
- ・ 春季・秋季ごみのポイ捨て禁止運動への参加

- ・ 校舎内の清掃

- ・ 学校敷地内および周辺のごみ拾い

②募金活動

- ・ ペットボトルキャップ・リングブルの回収

- ・ 赤い羽根共同募金活動の実施ならびに赤い羽根共同募金活動への参加

- ・ あしなが学生街頭募金活動への参加

- ・ FNSチャリティー募金活動実施

③地域との関わり

- ・ 障害者スポーツ記録大会
- ・ 旭川市障害者週間記念事業参加
- ・ あったかいねあさひかわ
- ・ 旭川冬まつり会場ボランティア
- ・ 学習支援教室（市内小学校）



④大会参加

- ・ 国際ロータリー第2500地区インタ

1 アクト地区大会

- ・ 高文連上川支部ボランティア研究大会
- ・ 高文連全道ボランティア研究大会

●文芸部

2名の卒業生を送り出し、今年度は女子1名の新入部員を迎え、3年生男女各1名、2年生女子2名、1年生女子1名の計5名で活動しています。

人数は減少したものの、編集のレベルは確実に上がり、毎年高文連文芸コンクールの部誌部門では、高い評価をいただいています。先輩達から受け継がれた熱い思いや、在校生の向上を目指す細やかな工夫が作品の仕上がりや年々優れたものになっているに違いありません。

昨年度は上川支部文芸大会が8月29日に開催され、特に2・3年生が活躍しました。その後、10月1～3日に大沼で開催された全道大会でも3年生が健闘し、俳句部門では部長（大水）の「ようきたねしわの深い手なす植える」が優秀賞となり、その後全国大会では優良賞を受賞するという栄誉をいただきました。

今年度も「書く」ことへの情熱や編集へのこだわりを念頭に、卒業生に続くべく部員一同、互いに高め合いながら、自分たちの最善をつくして、それぞれの作品そしてそれらを統合させた今できる最上の部誌を作り上げることを目標に活動していきます。

○高文連上川支部文芸研究大会

- 俳句部門 大水ひかる 優秀賞
- 小説部門 大水ひかる・植田里香 佳作

詩部門 大水ひかる・野村千尋 優秀賞

全道部誌部門 全道推薦

○高文連全道文芸コンクール

俳句部門 大水ひかる 優秀賞

小説部門 植田里香 入選

詩部門 大水ひかる 入選

文芸部誌部門 金賞

○高文連全国文芸コンクール

俳句部門 大水ひかる 優良賞

●放送局

KHKこと北高放送局は、1年生6人、2年生4人、3年生7人で活動中。今年度千歳市内で行われた第63回NHK杯全国高校放送コンテストでは、アナウンス部門にて1名が全国進出。アナウンス部門での全国進出は6年ぶりの快挙である。

今年度は1年生が6人加わり、昨年より戦力増の年になった。全員で一致団結し、テレビとラジオのドラマとドキュメントを作成、さらに、アナウンス部門と朗読部門にも参加した。

テレビドキュメントでは、「甲斐君の改心」を制作。1人の北高生にスポットを当て、彼の勉強や進路に対する姿勢を改善することに成功した。ラジオドキュメントの「声は地球をも救う!」では、今流行りの「イケボーイケメンボイス」について、軽快ながらも巧みに掘り下げ、地区大会で優勝を勝ち取った。テレビドラマでは、旭川ならではの雪景色を活用して高校生4人の友情を描いた「雪とけて」を制作。ラジオドラマで創り上げたのは、アメイジング・グレイスを軸にした感動人間ドラマ「恵み

の歌」。先日行われた地区大会では、他校と競い合いながら全ての部門での全道大会進出を決めたが、全国へは届かなかった。

放送の大会の難しいところは、敵が見えないことである。スポーツと違って自分たちが直接関与して相手を倒すことができない。自分たちが面白いと思えるものを見つけ、ひたすらにその魅力を伝える術を追求する。そして、審査員に1点でも高い点数をつけてもらうしかない。映像、音響、構成など、全てにおいて気の抜けない作業である。

個人部門では、単に滑舌が良いだけではダメ。大事なものは「話の内容が生き生きと伝わる発表」をすること。全国大会では「原稿」「発表・滑舌」「話し方」「マイクの使い方」のいずれ欠けてもいけない。今年度全国への切符を手にした1名は、弱点を克服し、新幹線のように一直線に目的地まで駆け抜けようと励んでいる。

これからも大会・学校関係の両方で活躍すべく、放送局員は日々奮闘中だ。

●写真部

こんにちは、写真部です。今年度は1年生が8名入部し、2年生4名、3年生1名の合計13名で活動中です。

今年度の目標としては、昨年度よりもさらに活動の幅を広げ、部員全員で郊外の写真撮影を行うなど、より活動的な部にしようとして模索中です。

また、学校祭展示においての文芸部とのコラボレーション作品について、昨年までは私達が撮った写真に詩をつけてもらっていましたが、今年度は新たに「文芸部が作っ

た既存の詩をテーマに写真を撮る」方式も行います。

今後も活動を通して、部活動・写真のどちらもより良いものにしていくよう努力します。

○平成27年度高文連上川支部写真展・研究大会

入選（組写真1点・青木・赤松・高橋、単写真1点・赤松）

### ●理科実験研究部

私たち理科実験研究部は三年生が三人、二年生が四人、一年生が五人、合わせて十二人の個性豊かなメンバーたちから成り立っています。部員間の関係も良く、部室にはいつも笑顔が満ち溢れています。

ではそんな私たちが普段どんな活動を行っているのか、それを次に紹介します。

私たちの活動は大きく分けて三つの要素に分かれています。まず一つ目が生徒自らの手で行う多種多様な実験です。顧問の先生が用意した実験や部員が興味を持った実験を中心として取り行い、化学への理解に努めています。

二つ目は様々なイベントへの参加と講演です。昨年度はショッピングセンターや青少年科学館といった場所で実験を行いました。前述した雰囲気も相まって、多くの人に楽しんでもらっていると自負しています。

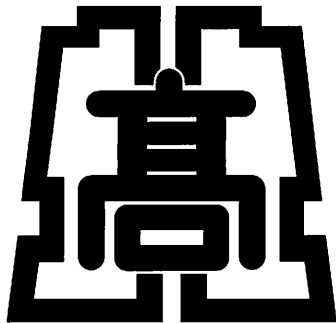
そして三つ目、我々の活動の集大成とも言える全道大会への出場です。そこで良い成績を取るために、夏期休業に入る頃にはより熱心に研究を行っています。その成果もあつてか前年度の大会では努力賞、奨励賞といった賞を頂くことが出来ました。

このような結果に繋がったのは顧問を始めとする先生方の協力は元より、先輩方が指導して下さったことによる経験が生きたのだと思います。三年生はあと少しで引退し、理研部はまた新たな体制で再スタートを切ることとなります。最高学年である私たち三年生はその姿を見届けることは出来ませんが、私たちが得たものを後輩たちが感じ取りまた次の世代へと受け継いでくれたら、そうなることを切に願いつつ、残された時間を使っていきたいです。

### ●生徒会執行部

旭川北高の生徒会は現在、一年生一三名、二年生一四名、三年生八名の計三五名で活動しています。北高の生徒会は、生徒主体をモットーに生徒と協力し、行事を成功させるために日々努力しています。特に、七月に行われる北高祭をより一層盛り上げるための努力を重ねています。今年の北高祭は、備品の老朽化のため毎年前夜祭では恒例となったファイアーストームという行事を実施しないことに決めました。この様に大きな変更を生徒が主体となつてできるといふのも本校の生徒会の特色だと思えます。生徒が主体となるということは、生徒一人一人が責任感を持つことに繋がります。このような機会を通して北高の生徒はただ授業を受けて学力をつけているだけでなく、社会に出て通用する人間力も学んでいます。他にも、新入生歓迎会や体育大会、クリスマスイベントなど多くの行事運営に携わっています。生徒会に携わると行事の企画・運営が主体となるため、クラスの中心となつて行事を盛り上げることは出来ませ

んが、行事が無事に終わった時の達成感や生徒会でなければ味わえませんし、この達成感を味わうために生徒会は動いていると思います。ただ、必ずしも全てが成功しているという訳ではありません。運営をしていけば、当然課題や反省が出てきます。課題や反省はなくすことが出来ませんが、減らすことは出来ると思いますので、事前準備や話し合いをしっかりとし、よりレベルの高い運営をめざすとともに、日々の活動を大事にして行きたいと思えます。同窓生の皆さまも機会がございましたら、ぜひ一度北高祭に足を運んでみて下さい。北高生一同、心からお待ちしております。





旭川北高

同窓会役員・幹事名簿

●同窓会役員名簿

役職名	氏名	卒業期
顧問	山形 積治	北8
顧問	西館 勝友	北13
顧問	八重樫和裕	北18
顧問	川島 崇則	北18
会長	尾崎 信彦	北25
副会長	村本 定範	北25
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	吉村 千鳥	北25
副会長	山本 淳一	北28
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	中村 悦郎	北16
会計監査	市山 力三	北17
会計監査	庄司 和晴	北18
総務部長	田中 充	北25
総務副部長	市川 陽一	北22
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
総務副部長	城 裕一	北25
会計部長	富田 公裕	北25
会計副部長	園田 和宏	北33
文化部長	木村 公俊	北25

役職名	氏名	卒業期
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	油屋 正	北29
校内担当	本田 晴樹	北32
札幌会会長	武田 寛	北16
札幌会副会長	風間 透	北17
札幌会事務局	松原 幹昌	北31
東京会・顧問	丹保冬司夫	北13
東京会会長	山口 哲男	北18
東京会副会長	柿林 博司	北22
東京会幹事長	石井 英郎	北18
東京会副幹事長	趙 京子	北18
東京会会計部長	谷尾 和江	北18
東京会事務局	植松 俊一	北18
東京会事務局	桜井 伸正	北21
東京会事務局	佐藤 みき	北23
岩手会会長	牛崎 鏝二	北6

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	小泉 貢
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	谷口 省一
昭36定卒	5	小林 成吏
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂晴
昭45定卒	14	松田 誠
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人

卒業年度	期	氏名
昭57定卒	26	中原 泰司
昭58定卒	27	山中 敏行
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次
昭63定卒	32	篠原 誠
平1定卒	33	窪田 竜三
平2定卒	34	新見 稔
平3定卒	35	西尾 悟
平4定卒	36	浅井 智希
平5定卒	37	大橋 恵子
平6定卒	38	早川 立人
平7定卒	39	細川 勝巳
平8定卒	40	遠藤 智康
平9定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣

卒業年度	期	氏名
平16定卒	48	白井 道恵
平17定卒	49	渡辺 勇太
		田中 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也
		越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
		今野 玲奈

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中1		
昭22卒	市中2	幹事長	吾妻 充
		副幹事長	西村 廣
		副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中3	幹事長	谷口 孝
昭24卒	市高1	副幹事長	石崎 一夫
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	伊藤 努
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	黒須 昌子
昭34卒	9	幹事長	鈴木 紀明
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	武田 泰治
昭36卒	11	幹事長	谷中 則親
昭37卒	12	幹事長	杉本 宗敏
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	石田 邦光
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴

卒業年度	期	役職名	氏名
昭43卒	18	副幹事長	池田 定博
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊地 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	武田 聡
昭59卒	34	幹事長	飛騨野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江淵 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平1卒	39	幹事長	水口 貴浩
平2卒	40	幹事長	富樫 明樹
平3卒	41	幹事長	村田 朋輝
平4卒	42	幹事長	細山 崇
平5卒	43	幹事長	下本 康子
平6卒	44	幹事長	山本 幸枝
平7卒	45	幹事長	武田 奈央
平8卒	46	幹事長	上北 泰志
平9卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	松井 智弘
平11卒	49	幹事長	池田 謙治

卒業年度	期	役職名	氏名
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳
平14卒	52	幹事長	大友 健司
		副幹事長	五十嵐 桂
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
		副幹事長	村田 友哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也
		副幹事長	中条百合子
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
		副幹事長	荒井麻菜実
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
		副幹事長	鈴木 宏始
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
		副幹事長	菅野 雅俊
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
		副幹事長	伊藤真奈美
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
		副幹事長	大谷 冬馬
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
		副幹事長	平間 建多
平23卒	61	幹事長	島田 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香

## 幹事の皆様大変ご苦労様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自宅】〒070-0876 旭川市春光6条2丁目4-2 田中 充

TEL(0166)55-0931 携帯電話 090-7650-8061

【勤務先】旭川市立忠和中学校 TEL(0166)61-5300



当番期

第51回 同窓会実行委員長

北高40期 富樫 明樹

本日の「第五十一回旭川北高等学校同窓会総会・懇親会」の開催に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。まずは、お忙しい中ご来場いただきました皆様、会券をご購入いただきました皆様、広告の協賛にご協力をいただきました皆様、多くの方々のご協力により本会を開催出来ましたこと、誠に御礼申し上げます。

思い返せば昨年十月に、前年の当番期にあたる第三十九期の先輩方から引き継ぎを受けたときは、担当部門の委員の数を集めることすら出来ず、先行きがまったく見通すことが出来ない惨憺たるものでした。実行委員の立ち上げが遅れてしまったことにより、諸先輩方には大変ご心配をおかけいたしました。また、同期生への声掛けも遅く、一月に開催した同期会の出席者も二十数名と少人数になってしまいました。ただ、少ないながらも出席した同期生とは数十年ぶりの再会にもかわからず、また高校時代に戻ったかのような楽しいひと時を過ごすことが出来ました。その中から実行委員に協力していただける仲間も増え、ひと

えにこの仲間達がいなければ、この同窓会が成立しなかつたことと本当に感謝の念に堪えません。奇跡的に、素晴らしい仲間にも出来たこと。そして、同窓会の成功を目指し紆余曲折を経ながらも無事に開催にたどり着けたこと。全ては、旭川北高等学校で共に学び、楽しさや苦しさを共に味わい、卒業してからもしっかりと繋がっていた絆があったからこそと考えると、同窓会の持つ意味も今までは違って見えてきます。多くの諸先輩方も、この母校の持つ歴史の重みを感じてきたからこそ、五十年以上同窓会が続いてこれたものと実感しております。

今回の運営にあたり、同窓会本部役員の皆様、各期幹事の皆様、そして前年の第五十回という記念大会の当番期を担当された三十九期の先輩方には、多大なご配慮をくださり心より感謝しております。

最後に、旭川北高及び北高同窓会の更なるご発展と、在校生と同窓生の皆様のますますのご活躍を心より祈念し、当番幹事代表から結びの挨拶とさせていただきます。



次期当番期

第52回 同窓会実行委員長

北高41期 村田 朋輝

第51回旭川北高等学校同窓会の開催、誠にありがとうございます。また、開催にあたり、このような拙文を掲載していただき大変恐縮しております。

さて、私ですが第41期同窓会幹事長の村田と申します。高校時代から続く悪い癖か、何事も追い込まれるまで実行に移せない性分、この原稿も着々と迫る締切に怯えながら書いているような状況です。

のは今でも不思議でなりません。あれから何年経ったか、もう数えないとわからないほど年月も過ぎてしまいました。今でも当時の仲間達との小規模な集まりはあちらこちらで行われているようです。私自身も数人とやりとりは続いていて、集まるたびに当時は振り返り、毎回同じ会話を交わしながら笑ったりしんみりしたりしながら懐かしんでいます。

こんな私が幹事長になった経緯ですが、卒業が間近に迫ったところ、担任の松原紀子先生から「むらた〜くん」と、ちよつと気怠いいつもの調子で呼び止められ（松原先生に習われた方なら立ちはだかる感じやイントネーションも含めて脳裏をよぎっているかと思えます）、特に承諾もありません。私自身の就職先が旭川市内だったため、卒業後も旭川に残る可能性が高かったというのが選ばれた理由のようですが、同様に旭川に残る卒業生がいる中、とても優等生とは言えなかった私に、大事な幹事長を任せる決断をされた

41期が当番となり、会員皆様の期待に応えられるよう準備を進めていかなければなりません。これまでの小規模な集まりも徐々に規模を大きくし、幹事だけでなく41期全員が一丸となり同窓会の成功に向けて頑張っていかなければと思っておりますので、会員皆様のご協力も賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、旭川北高並びに旭川北高同窓会のますますのご発展と本日の同窓会の成功を祈念いたしまして次期当番幹事の挨拶とさせていただきます。